企業防災対策ブランド

# ビズネットセーフティーのご案内

Biznet Safety

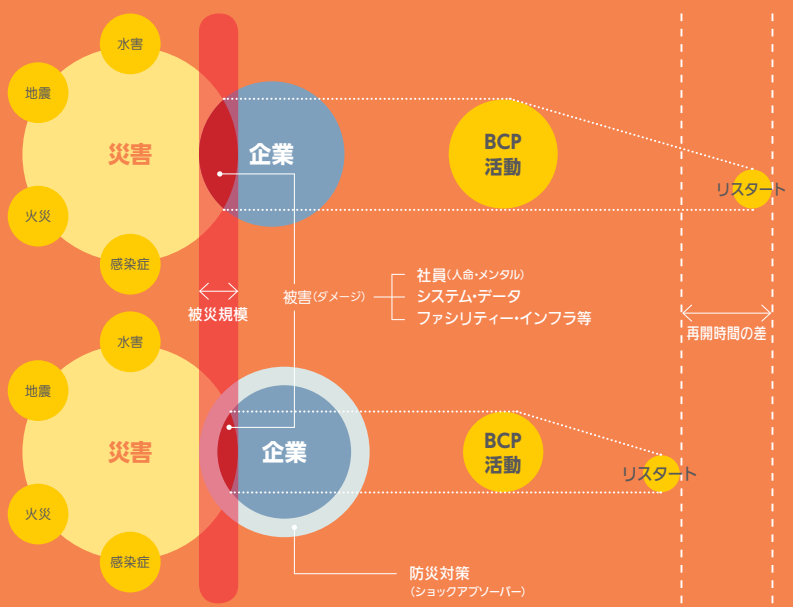
お客様企業の防災対策をサポートする
サブブランド「ビズネットセーフティー」では、
企業の防災対策における具体的なノウハウを提示し、
防災用品を揃える基準を明確化。
防災対策の重要性が叫ばれる昨今、
より的確で役に立つソリューションをご提案します。


1 . Information >>
2 . Item >>
3 . Maintenance >>


## 防災対策とBCP※

企業にとって災害は、人材やデータ、ファシリティーなどにダメージを与え企業活動を脅かす存在です。防災対策の意義は、災害から受けるダメージをできるだけ小さくすることにあります。ダメージが小さければ小さいほど、BCP活動も短期間で完了し、事業再開までの時間を短縮することが可能になります。そのため、大きなダメージを受ける可能性がある災害から企業をどう守るかという視点が必要になります。では具体的に、どのように防災対策を進めていけばよいのでしょうか。

※BCP:Business Continuity Plan　事業継続計画（災害時に重要業務が中断しない、または重要業務が中断したとしても目標時間内に再開すること。取引の他社流出、シェアの低下、企業評価の低下などへの防止対策）



# ビズネットセーフティーの考え方

## ご担当者のお悩み

### 備蓄品を購入したとしても、アフターメンテナンスはどうしたらいいの？

飲料・食料、電池などの備蓄品は、賞味・消費期限を管理するのが大変。入れ替えの方法やタイミングもどうしたら良いか不安。また、賞味期限切れになった飲料・食料をどう処分したらいいの？ 捨てるのはもったいないし、いい方法あるかな？

### どんな防災対策用品を揃えたらいい？

色々な防災用品が出回っているけれど、どのレベルのものを、どこまで揃えたらいいのかわからない。全体が見えないので予算化も難しい…。

### 同じ機能のものでも種類が多くて、値段もまちまち。これでは決められない…。

最近では、飲料・食料の種類が増えてきたし、100円ショップで買える防災用品もたくさんある。安い方が助かるけれど、いざというときにきちんと機能するのかな？ 何を基準に比較したらいいのかしら？

## 企業防災対策のトータルソリューション「ビズネットセーフティー」が貴社の力になります。

法律・条例で定められた防災対策や経験者のアドバイスに従い、どのような防災用品を揃えるべきか、また購入後のメンテナンスはどうすべきかなどの課題に「ビズネットセーフティー」が応えます。

### ソリューション概要

防災用品調達のための情報提供からはじまり、防災用品調達のための優先順位、品質基準をご提示、アフターメンテナンスもしっかりと行います。これら3つのステップを繰り返すことで、防災対策を継続的に改善することができます。

**ビズネットセーフティーの3本柱**

- ① 情報 — 防災用品調達のための情報提供
- ② 物品 — 防災用品調達の優先順位と品質基準の提示
- ③ メンテナンス — 購入後のアフターメンテナンスサービスの提供

## ■ビズネットセーフティーの提供コンテンツ

情報収集 → 商品選定 → 運用検討 → 管理・メンテナンス

### ① 情報

**購買前情報提供**

- 法令・条例
- 他社事例
- ビズネットセーフティーの基本思想
- 商品の選定の考え方
- 体験／トレーニング
- 防災用品スタンダードの考えかた

### ② 物品

**品揃え**

- 災害発生時に命に関わるもの
- 災害対策として無いと困るもの
- 業務継続に向けて必要なもの

カタログ商品

商品選定情報 ビズネットスタンダード基準

お客様企業専用商品

コンサル
カスタマイズ提案
（コーディネイト機能）

### ③ メンテナンス

**購買後アフターフォロー**

システムサポート
- メンテナンスアラート
- 購入集計データ
- メンテナンス年間見積

- 有期限食品処理のお手伝い
- 食品寄付先の御紹介
- 商品入れ替えサービス

# 1 情報 Information

## [主な防災関連の法律・条例](概要)

法律や条例で定められた防災対策をチェックして、適切な防災対策が取られているか確認しましょう。

### 東京都帰宅困難者対策条例(東京都)　平成25年4月1日施行

災害時に帰宅できない社員や地域の住民用に水や食料などを備蓄することが求められています。

### 改正消防法　平成21年6月1日施行

オフィスなどの大規模な施設に対して、火災や地震に関する消防計画に基づいた対策や点検、自衛消防隊の設置が求められています。

### 火災予防条例(東京都)　昭和37年3月31日改正

自衛消防隊用の装備(個人用・消防隊用)の用意と点検が義務付けられています。

### 具体的な対策と必要な防災用品

- 3日分の水・食料・毛布等の備蓄
- 外部からの受け入れ体制の確保

- 地震などによる家具の転倒防止
- 自衛消防隊の設置
- 地震による被害(避難路の封鎖やエレベーター停止)への対策

- 個人装備
  作業着・消防用ヘルメット・警笛・携帯照明器具・携帯用無線機
- 消防隊用装備
  消火器その他の消火資器材・ロープ・携帯拡声器・救出用具・担架・応急手当用具

## [防災関連団体のご紹介]

### 公益社団法人危機管理協会(シーマ)

英語名　Crisis Management Association
略称：CMAは、国民保護法に基づく国民の避難誘導及びそれに関連する支援業務を関係官庁と密接に連携して実施することを目的として危機管理の専門家集団によって設立された公益社団法人です。

現在は、これらの活動とともに災害対策基本法に基づいた活動として、自然災害の脅威から国民の生命を守るために、防災に関する知識の普及、メンタル教育に重点を置いた参加型の防災リーダー育成セミナー「いのちを守る@シリーズ」等を企業、教育機関、地域団体、自治体向けに実施し、ママさん向けには、定期的に「いのちを守る@防災ママセミナー」を実施しています。また、企業向けにはBCPに関するコンサルティング業務も活動の領域としています。

さらに活動は、サイバーテロ対策コンサルティングの領域にも及んでいます。

www.cma-j.org
info@cma-j.org
Tel: 03-5217-2011
〒101-0054
東京都千代田区
神田錦町2−9 岡田ビル201

ビズネット危機管理体験型セミナー2013年11月1日

**活動内容 1　危機管理に関する啓発(啓蒙・教育・コンサルタントなど)**

危機意識に対する国民の意識高揚、啓蒙、普及のために、政府や地方公共団体主催の国民保護、防災訓練などへの参加のほか、シーマ主催の危機管理に関するさまざまなイベントやセミナーを開催。

**活動内容 2　危機管理主任試験の実施による緊急事態への対処能力の充実**

知識、技能、判断力、統率力を評価する資格制度、危機管理主任試験を実施。

■危機管理主任試験

- 4級　自分自身を守る知識を評価
- 3級　共に助け合う知識・能力を評価
- 2級　防災対策や災害時のマネジメント知識・能力の評価
- 1級　災害時に自治で指揮を執れる知識・能力が身につく

企業における防災責任者には3級取得を推奨している。今後、国家資格化されれば、資格取得が企業防災に一層役立つだけでなく、企業価値向上にもつながることが期待される。

**活動内容 3　国民保護及び防災に関する適合資器材、システム等の認定**

防災用品・防災システムの中から、災害時に有効に機能するものを見極め、危機管理認証(CMAマーク)を付与。また、国民保護及び防災に関するアイデア商品開発、取り組みへの助言や支援も行っている。

その他、防災関連ホームページはこちら。情報収集にお役立てください。
●東京都 防災　http://www.bousai.metro.tokyo.jp　●内閣府 防災情報　http://www.bousai.go.jp　●総務省 消防庁　http://www.fdma.go.jp

Biznet Safety

# 2 物品 Item

## 防災用品を選定するときのポイントを把握しましょう。

**POINT❶** 場所と災害規模によって必要となる防災用品が変わってきます。

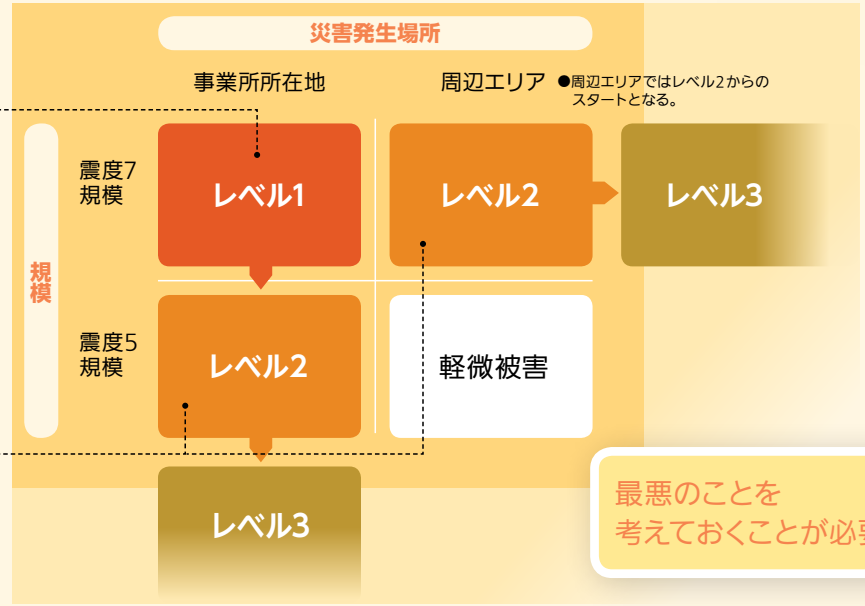
### レベル1

- ●ヘルメットなどの防護用品
- ●バールなどの救助用品
- ●拡声器などの誘導用品

### レベル2

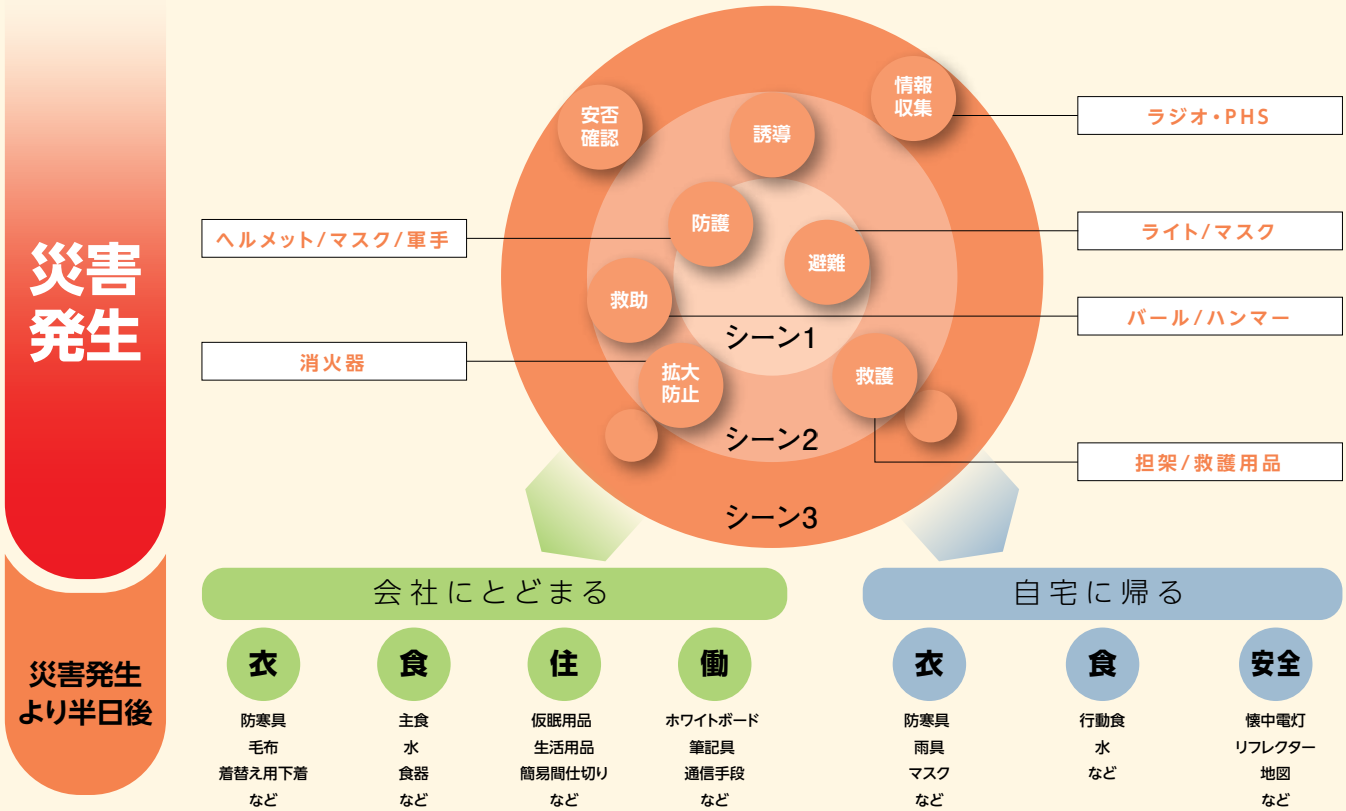
- ●食料や飲料水
- ●災害用トイレ
- ●マットや毛布などの仮眠用品
- ●帰宅のためのライトやラジオ

★レベル1は時間の経過とともに
レベル2へ移行します。



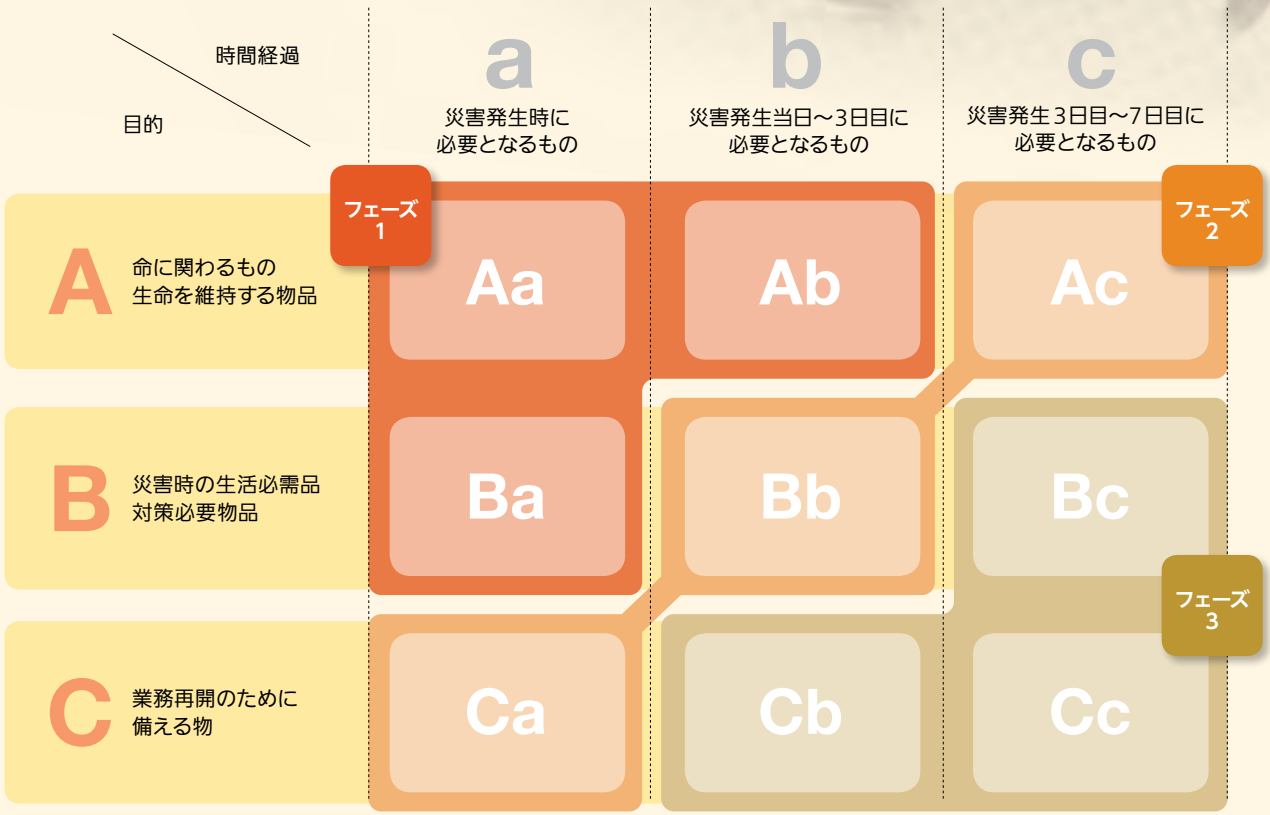

**POINT❷** さらに、災害発生からの経過時間によって必要となる防災用品が変わってきます。

レベル1（事業所所在地で震度7規模の地震が起きた場合）に必要な防災用品を導き出してみましょう。



# [防災用品フェーズ対応表]

「ビズネットセーフティー」では、各フェーズで必要なものを以下のような区分できめ細かく整理・分類しています。




※災害発生時から時間とともに必要な装備は変化していきます。

各フェーズで必要となる防災用品は広範囲にわたり、かなりの量になります。それらを一度に揃えるには多額の防災対策費用が必要となります。数年に分けて段階的に装備していくことが現実的ですが、災害はいつ発生するかわからないため、重要度の高い防災用品から装備していくことが大切です。

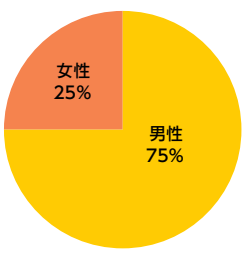
では、装備の優先順位をどのように捉えたらよいのでしょうか。

次ページに防災用品一覧表を設けました。公益社団法人危機管理協会（シーマ）が危機管理主任有資格者約400名にアンケート※を行い、その回答をもとに装備の優先順位の目安をまとめたものです。この表を参考にし、企業の置かれている環境（都市部、海岸や河川付近、交通状況、人口密集度など）を考え、装備の優先順位を検討していただければ幸いです。

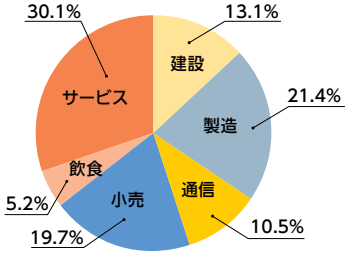
## ※ アンケート概要（2013年9月実施）

公益社団法人危機管理協会認定の危機管理主任を対象に、防災用品一覧表に記載された防災用品やサービスに対し、「最低限必要な装備」、「一般的に必要な装備」、「費用があれば用意」の3つの中から選択してもらいました。

回答者属性・性別




回答者属性・業種




次ページに
防災用品
一覧表

# 防災用品一覧表



| 大分類 | 目的・用途 | | | 有期限商品 | 商品 | 配備形態 | 法的装備義務 1.帰宅困難者対策条例 | 法的装備義務 2.改正消防法 | 法的装備義務 3.火災予防条例 | 優先順位表示 | ビズネットカタログ掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A 人・命を守る | A | 自分を守る | 1.頭部の保護 | | ヘルメット・防災頭巾 | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 | 698 750 |
| | | | | | 保護メガネ | 個人装備 | | ○ | ○ | 重要 | 697 |
| | | | | | マスク(防じんマスク) | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 | 696 |
| | | | 2.体の保護 | | 軍手・革手袋 | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 | 701 702 703 751 |
| | | | | | 安全靴・防災用スニーカー | 個人装備 | | ○ | ○ | 重要 | 700 |
| | | | | | 防炎服 | 個人装備 | | ○ | ○ | 有効 | |
| | | | | | ライフジャケット(地形的な環境を含めて検討) | 共有装備 | | ○ | ○ | 有効 | |
| | | 避難する | 3.退路の確保 | | 家具等の転倒防止 | 共有装備 | | ○ | | 必須 | 762 763 |
| | | | | | PCの転倒防止・書類等の落下防止 | 共有装備 | | ○ | | 重要 | 253 |
| | | | | | ガラス飛散防止フィルム・シート | 共有装備 | | ○ | | 必須 | 751 763 |
| | | | | | 避難用はしご・ロープ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 678 723 |
| | | | | | 救助工具(バール・ジャッキなど) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 688 755 766 |
| | | | | ○ | 消火器・携帯消火弾 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 765 |
| | | | | | 煙探知機・火災警報器・音声地震津波警報機 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | |
| | | | 4.避難する | | 懐中電灯 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 683 757 853 854 |
| | | | | | 車載ハンマー(自動車用) | 共有装備 | | ○ | ○ | 重要 | 755 |
| | B | 周囲を守る | 5.誘導する | | 拡声器・メガホン | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 685 |
| | | | | | 誘導灯・誘導棒 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 683 |
| | | | | | 誘導標識・蓄光テープ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 762 765 |
| | | | | | 誘導ベスト | 共有装備 | | ○ | ○ | 有効 | 699 |
| | | | 6.救助する | | 救助工具(バール・ジャッキなど) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 688 755 766 |
| | | | | | 革手袋 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 701 |
| | | | | | エレベーター用防災備蓄ボックス | 共有装備 | | | | 必須 | |
| | | | | | ホイッスル・呼子笛 | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 | 751 |
| | | | 7.救護する | | 担架 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 757 766 |
| | | | | | ブルーシート・ビニールシート | 共有装備 | | | | 必須 | 678 |
| | | | | ○ | AED | 共有装備 | | | | 必須 | |
| | | | | ○ | 応急手当用品(三角巾・止血テープなど) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 753 754 1000 1001 |
| | | | 8.拡大防止 | ○ | 消火器・防火バケツ・三角バケツ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 756 765 |
| | | | | | 土のう(水害用) | 本部装備 | | | | 重要 | 693 757 |
| B 災害時の情報収集 | 9.災害の状況を確認する | | | | テレビ・ラジオ | 共有装備 | | ○ | | 必須 | 756 855 866 |
| | | | | ○ | 予備電源(発電機・充電器・蓄電池・乾電池) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 229 230 830 831 832 833 834 835 855 |
| | | | | | トランシーバー | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 | 684 |
| | | | | | ホワイトボード・ボードマーカー・イレーザー | 共有装備 | | | | 重要 | 784 788 792 794 796 797 798 799 |
| | | | | | 模造紙・テープ・油性マジック | 共有装備 | | | | 重要 | 414 415 416 417 418 597 626 627 628 629 630 631 632 |
| | | | | | (災害情報提供サービス) | 本部装備 | | | | 必須 | |
| | | | | | 災害用 PC | 本部装備 | | | | 有効 | |
| | 10.社員・家族の安否を確認する | | | ○ | 携帯電話予備電源(充電器・充電池・乾電池) | 個人装備 | | ○ | | 必須 | 229 230 830 831 832 833 834 835 855 |
| | | | | | (安否確認マニュアル) | 個人装備 | | | | 必須 | |
| | | | | | (安否確認サービス) | 個人/本部 | | | | 必須 | |
| C 災害時に無いと困るもの | A | 生命の維持に必要なもの | 11.水の確保 | ○ | 保存水(5年以上) | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必須 | 760 767 768 |
| | | | | | 給水袋・ポリタンク | 共有装備 | | | | 必須 | 756 |
| | | | 12.食料の確保 | ○ | 保存食 | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必須 | 758 759 760 761 767 768 |
| | | | | ○ | サプリメント等 | 個人/共有 | | | | 有効 | |
| | | | | | 簡易食器(紙食器等) | 共有装備 | | | | 重要 | 918 919 920 922 923 |
| | | | | | 加熱器具(ヒートパック、カセットコンロなど) | 共有装備 | | | | 必須 | 759 767 768 868 |
| | | | | | 調理器具(鍋、釜など) | 本部装備 | | | | 必須 | 935 |
| | | | 13.災害用トイレ | | 災害用トイレ(組み立て式便座等) | 共有装備 | | | | 必須 | 754 767 |
| | | | | ○ | 災害用トイレ消耗品(汚物処理剤+ビニール袋) | 共有装備 | | | | 必須 | 754 767 |
| | | | | | トイレットペーパー | 共有装備 | | | | 必須 | 975 976 977 |
| | | | | | ゴミ運搬具 | 本部装備 | | | | 重要 | 724 725 726 |
| | | | | | ゴミ袋・ゴミ箱 | 共有装備 | | | | 重要 | 962 963 968 |
| | | | | | 消毒剤・消臭剤・除菌剤 | 共有装備 | | | | 必須 | 946 973 978 979 980 981 993 |
| | B | 健康の維持に必要なもの | 14.睡眠をとる | | 簡易マット | 共有装備 | | | | 重要 | 755 |
| | | | | | 寝袋・寝具 | 共有装備 | | | | 有効 | 752 755 |
| | | | | ○ | 毛布 | 共有装備 | ○ | | | 必須 | 752 755 766 |
| | | | | | 耳栓・アイマスク | 共有装備 | | | | 有効 | |
| | | | 15.寒さ対策 | | サバイバルシート | 共有装備 | | | | 必須 | 755 |
| | | | | ○ | カイロ | 共有装備 | | | | 重要 | 1003 |
| | | | | | 暖房器具 | 共有装備 | | | | 重要 | 856 |
| | | | | | 防寒着 | 個人装備 | | | | 有効 | |
| | | | 16.暑さ対策 | | 冷却シート | 共有装備 | | | | 重要 | 1002 |
| | | | | | 扇風機・うちわ | 共有装備 | | | | 重要 | 857 |
| | | | | | タオル(体ふきタオル等) | 共有装備 | | | | 必須 | 754 |

防災用品には様々なシーンやタイミングで使用するものがあります。また、個人で持つものや本部で持つものなど備える場所が異なるものもあります。ここではそれらの商品を一覧表にし、誰が何のために備えるのか、また優先順位はどのように考えたらよいかも併せて整理してあります。

（このリストは災害発生後から7日間程度の間に必要となるものを想定しています）

## ■法的装備努力義務

1）東京都帰宅困難者対策条例（東京都）
3日分の飲料水、食料、毛布

2）改正消防法
消防計画に基づき避難誘導、エレベーター閉じ込め対応、家具什器などの転倒防止、初期消火、救出救護、応急処置

3）火災予防条例（東京都）
（自衛消防隊のための道具を配備することが必要）
防火衣または作業衣、消防用ヘルメット、警笛、携帯用照明器具、携帯用無線機、その他の情報伝達機器、消火器、その他の消火資機材、とび口、その他の破壊器具、ロープ、携帯用拡声器、バール、その他の救出器具、担架、ガーゼ、包帯、三角巾、その他の応急手当用具

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ラップフィルム | 共有装備 | | | | 必　須 | 938 |
| | | | 17.衛生用品 | | 清掃用品 | 共有装備 | | | | 重　要 | 860　861　862　950　951　952　953　954　955　956　957　958　959 |
| | | | | | 消毒剤・除菌剤・殺虫剤 | 共有装備 | | | | 必　須 | 946　960　961　982　993　1001 |
| | | | | | 洗剤・石鹸・ハンドソープ | 共有装備 | | | | 必　須 | 994　995 |
| | | | | | ウエットティッシュ・ティッシュペーパー | 共有装備 | | | | 重　要 | 693　754　988　989　992 |
| | | | | | タオル（ハンドタオル・ペーパータオル・体ふきタオル） | 個人装備 | | | | 重　要 | 751　754　990　991　997　998 |
| | | | | | アメニティ用品（歯ブラシセットなど） | 個人装備 | | | | 重　要 | 996 |
| | | | | | 着替え用下着・靴下 | 共有装備 | | | | 必　須 | |
| | | | 18.ごみ処理 | | ゴミ箱 | 共有装備 | | | | 重　要 | 967　968　969 |
| | | | | | 回収用ゴミ袋 | 共有装備 | | | | 必　須 | 962　963 |
| | | | | | 消臭剤・除菌剤 | 共有装備 | | | | 重　要 | 973　978　979 |
| | | | | | ゴミ運搬具 | 共有装備 | | | | 重　要 | 724　725　726 |
| | | | 19.ウイルス対策 | | マスク（サージカルマスク） | 共有装備 | | | | 重　要 | 696　1002 |
| | | | | | ゴミ袋等 | 共有装備 | | | | 重　要 | |
| | | | | | 消毒剤・除菌剤 | 共有装備 | | | | 重　要 | 993 |
| | | | | | 体温計 | 共有装備 | | | | 重　要 | 1002 |
| | | | | | 温度計・湿度計 | 共有装備 | | | | 重　要 | 838　839 |
| | | | | | 空気清浄機 | 共有装備 | | | | 有　効 | 858　859 |
| | | 20.生活環境整備 | | | ランタン | 共有装備 | | | | 重　要 | 757　854 |
| | | | | ○ | 乾電池・充電池・蓄電池・蓄電器 | 共有装備 | | | | 必　須 | 229　230　830　831　832　833　834　835　855 |
| | | | | | コードリール | 共有装備 | | | | 重　要 | 691 |
| | | | | | 発電機・缶燃料等（燃料用の危険物保管施設が必要） | 共有装備 | | | | 重　要 | 757　766 |
| | | | | | 着火剤 | 共有装備 | | | | 重　要 | 759 |
| | | | | | 工具セット | 共有装備 | | | | 重　要 | 689 |
| | | | | | 個室用テント | 共有装備 | | | | 有　効 | 767 |
| | | | | | 簡易間仕切り（マット含む） | 共有装備 | | | | 重　要 | 534　677 |
| | | | | | 搬送用品（リヤカー・一輪車・台車等） | 共有装備 | | | | 有　効 | 724　725　726 |
| | C | 移動する（帰宅等） | 21.自分を守る | | 帽子・バンダナ・ヘルメット・防災用キャップなど | 個人装備 | | | | 必　須 | 698 |
| | | | | | 軍手 | 個人装備 | | | | 重　要 | 702　703　748　751 |
| | | | | | マスク（サージカルマスク） | 個人装備 | | | | 重　要 | 696　748　1002 |
| | | | | ○ | 応急手当用品 | 個人装備 | | | | 必　須 | 746　747　748　1000　1002 |
| | | | | | 懐中電灯 | 個人装備 | | | | 必　須 | 748　751　757　853　854 |
| | | | | | ホイッスル・呼子笛 | 個人装備 | | | | 有　効 | 748　751 |
| | | | | | リフレクター（反射板） | 個人装備 | | | | 有　効 | 748　762　766 |
| | | | | | スニーカー（防災スニーカーなら、さらに良し） | 個人装備 | | | | 重　要 | |
| | | | | | 車載ハンマー（自動車用） | 共有装備 | | | | 重　要 | 755 |
| | | | 22.情報を収集する | | ラジオ・ワンセグテレビ等 | 個人装備 | | | | 必　須 | 748　756　855 |
| | | | | ○ | 充電器・乾電池・充電池 | 個人装備 | | | | 必　須 | 229　230　748　830　831　832　833　834　835　855 |
| | | | | | メモ帳（撥水ペーパー）・ペン（油性/加圧式） | 個人装備 | | | | 必　須 | 587　611　748 |
| | | | | | 地図（携帯用） | 個人装備 | | | | 有　効 | 1013 |
| | | | 23.健康を維持する | ○ | 保存水（5年以上） | 個人/共有 | | | | 必　須 | 748　760 |
| | | | | ○ | 携帯用栄養食 | 個人/共有 | | | | 必　須 | 748　760　761　767　768 |
| | | | | ○ | 携帯用簡易トイレ | 個人/共有 | | | | 必　須 | 748　751 |
| | | | | | ウエットティッシュ・ティッシュペーパー | 個人装備 | | | | 必　須 | 693　748　754　989　992 |
| | | | | ○ | カイロ | 個人/共有 | | | | 必　須 | 1003 |
| | | | | | ポンチョ | 個人装備 | | | | 必　須 | 750　1011 |
| D 業務の継続に向けて必要なもの | A | 24.データ保護対策 | | | PCの転倒防止・書類等の落下防止 | 共有装備 | | | | 重　要 | 253　764 |
| | | | | | UPS（無停電装置） | 共有装備 | | | | 有　効 | 251 |
| | | | | | 雷ガード・安全タップ | 共有装備 | | | | 有　効 | 247　248　249 |
| | | | | | （データセンターサービス） | 本部装備 | | | | 必　須 | |
| | B | ファシリティー面での対策 | 25.事業継続のための安全性確保 | | 家具等の転倒防止 | 本部装備 | | ○ | | 必　須 | 763 |
| | | | | | 書類等の落下防止 | 本部装備 | | | | 重　要 | 762 |
| | | | | | 屋外防災備蓄倉庫 | 本部装備 | | | | 有　効 | |
| | | | 26.インフラ代替（電気） | | 蓄電池 | 共有装備 | | | | 重　要 | |
| | | | | | 発電機 | 本部装備 | | | | 重　要 | 766 |
| | | | | | （移動電源車） | 本部装備 | | | | 有　効 | |
| | | | 27.インフラ代替（通信） | | 衛星携帯電話・災害用PHS | 本部装備 | | | | 有　効 | |
| | | | | | （WEBテレビ会議） | 本部装備 | | | | 有　効 | |
| | | | 28.オフィススペース代替 | | 防災テント | 本部装備 | | | | 有　効 | |
| | | | | | 折りたたみテーブル・折りたたみイス | 本部装備 | | | | 有　効 | 529　530 |
| | | | | | ホワイトボード・ボードマーカー・イレーザー | 本部装備 | | | | 有　効 | 784　788　792　794　796　797　798　799 |
| | | | | | 簡易間仕切り | 本部装備 | | | | 有　効 | 534　535 |
| | | | | | （バックオフィス・在宅勤務システム） | 本部装備 | | | | 有　効 | |
| | | | 29.移動手段 | | 自転車 | 本部装備 | | | | 有　効 | 749 |
| | | | 30.補修用品 | | ブルーシート・ビニールシート | 本部装備 | | | | 重　要 | 677　678 |
| | | | | | ロープ | 本部装備 | | | | 重　要 | 678 |
| | | | | | ガムテープ（布） | 本部装備 | | | | 重　要 | 660　661　662　663　664　665　674 |
| | | | | | 油性マジック | 本部装備 | | | | 重　要 | 626　627　628　629　630　631　632　638 |

## 防災用品を選ぶ際には、どのような物品・物資を揃えたらいいのでしょうか?

# 災害の規模や時間経過、使用目的によって必要となる物を、マークで細かく分類して、カタログ商品に表示しています

この一覧表に表示されている情報は、マーク化してカタログ商品にも表示します。
防災用品を選定する際の参考にしていただければ幸いです。

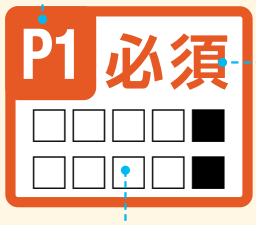
| | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 法令 |
|---|---|---|---|---|
| 必須 | P1 必須 | P2 必須 | P3 必須 | 法 防災関連法 義務 |
| 重要 | P1 重要 | P2 重要 | P3 重要 | |
| 有効 | P1 有効 | P2 有効 | P3 有効 | |

どのフェーズで必要な商品かを表しています。各フェーズはP1、P2、P3と表記しています（15ページ参照）。

**P1 フェーズ 1**
災害発生時から早期に必要となる防災用品を示します。

**P2 フェーズ 2**
フェーズ1以降のタイミングで使用される防災用品を示します。災害地の周辺エリアでは、このフェーズの防災用品が最初に必要となるケースが想定されます。

**P3 フェーズ 3**
災害発生時から1週間以内に必要になる防災用品を示します。



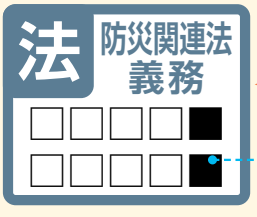

その防災用品の用途や目的が表示されています。

各フェーズでの配備優先順位を示します。

**必須**
最も装備の優先順位が高い防災用品です。

**重要**
一般的な防災対策には重要な防災用品です。

**有効**
災害時にあると効果的な防災用品です。




防災関連の法律や条例で装備を義務付けられている防災用品です。

関連した法令名が表示されています。

## マークの表示例

### 防災用品選定マーク

### 推奨防災品・防災品マーク

■マーク表示例-1

**奨励防災品マーク**
この商品は、飛来・落下物用の検定をパスしておりヘルメットとしての基本機能を有しています。加えて付加機能として、災害に備えて身近に装備しやすいように折りたたむことができ、コンパクトに収納することができます。

**防災用品選定マーク**
この商品は災害時に頭部の保護の為に必要となるものです。また災害後に移動する場合にも自分を守るために必要となります。共に必須となる商品です。法令では、自衛消防隊の装備の一つとして、改正消防法、火災予防条例で装備が義務付けられています。

## 防災用品を選ぶ際には、どのような品質の物品・物資を選択すればいいのでしょうか?

## 防災用品の基準をクリアーした商品には、「防災品マーク」「推奨防災品マーク」を表示しています

商品の品質を評価し、充分な性能を有する商品を表しています。
防災品として基本機能を果たす品質を有する商品に「防災品マーク」。
そのうえで、さらに災害時に役に立つ付加機能を有する商品に
「推奨防災品マーク」を表示しています。

### ●認定手順

その物品の使用シーン・フェーズの確認・設定

↓

重要評価項目

防災品として必要となる基本機能をクリアーしているか

NO 不適応

YES

付加評価項目

災害時に有効な付加機能を有しているか

YES

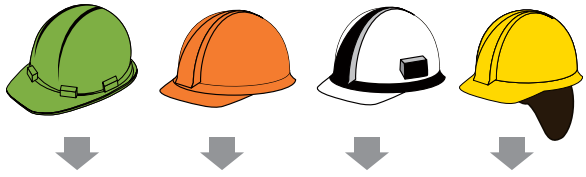
防災品

評価

推奨防災品

### 評価例（ヘルメット）

保護帽（ヘルメット）■目的:自分を守る ■用途:頭部の保護



■重要評価項目

● 飛来・落下物から頭部を守る ● 軽くてかぶっても邪魔にならない

| | | |
|---|---|---|
| 製品 | 耐久性 | 製品強度 |
| | | 適正品質 |
| | | 耐久時間（使用時間） |
| | 製品仕様 | 認定マーク |
| | | 製品素材・加工 |
| | | 効果検証（品質検証） |
| 行動 | 機動性 | 製品形状 |
| | | 製品重量 |

→ 不適応

→ 防災品

■付加評価項目

● 脱げ防止機能がある ● 収納、携帯性に優れる
● 通気性がある ● 瞬時に着用できる

| | | |
|---|---|---|
| 行動 | 利便性 | 製品自体・保管場所 |
| | 簡便性 | 自立性 |
| | | 操作性 |
| | 汎用性 | 使用制限（人） |
| 管理 | 管理特性 | 個人配布・個人管理 |

災害時に効果的な付加機能であるもの

→ 推奨防災品

■マーク表示例-2

スマートフォン及び携帯電話も充電できる手回しラジオ。

推奨防災品　P1 必須 災害の状況を確認する　法 改正消防法

ラジオ＋LEDスポット＋ソフトライト

ソニー
▼手回し充電ラジオ ☎

| メーカー型番 | 単位（入数） | 注文コード | オープンB価格（税抜） |
|---|---|---|---|
| CF-B08 W | 1台 | 250-092 | ¥7,500 |

●外形寸法:幅132×奥行58×高さ77mm ●使用電池:内蔵充電池/別売アルカリ乾電池（単3×2） ●質量:約329g（乾電池使用時:約376g） ●スマートフォン・携帯充電（※一部のスマートフォン、携帯電話には対応していません。） ●手回し充電目安（約1分間）:連続待ち受け=スマートフォン約40分/携帯電話約2時間、連続通話=約1分、ラジオ=FM受信時約50分/AM受信時約75分、ライト使用時=約15分 ●電池持続時間（アルカリ単3形乾電池）:連続待ち受け=スマートフォン約16時間/携帯電話約50時間、連続通話=約25分、ラジオスピーカー出力=FM受信時約80時間/AM受信時約100時間、ライト使用時=約50時間 ●受信バンド:AM/FMラジオ ●実用最大出力:60mW（内蔵電源使用時）/90mW（アルカリ乾電池使用時） ●入出力端子:イヤホン（ミニ） ●付属品:キャリングポーチ、ハンドストラップ、非常用の笛、マイクロUSBケーブル、充電プラグアダプター、取扱説明書・保証書、対応機種一覧表

**防災用品選定マーク**
この商品は、災害直後に状況を確認するために必要となる商品です。

**奨励防災品マーク**
この商品は電池が切れてもハンドルを回すことにより充電できる付加価値を備えています。

■マーク表示例-3

防災品　P1 必須 水の確保　P2 必須 健康を維持する　※②のみ　法 帰宅困難者　法 改正消防法

製造日から保存期間 5年

富士ミネラルウォーター
▼非常用保存水 ☎

| | 容量 | 単位（入数） | 注文コード | M価格（税抜） |
|---|---|---|---|---|
| ① | 2ℓ | 1箱（6本） | 353-241 | ¥1,800 |
| ② | 500mℓ | 1箱（24本） | 353-240 | ¥3,600 |

●保存期間:5年（製造日より） ●外箱サイズ:①幅327×奥行188×高さ325mm②幅413×奥行285×高さ226mm

GPN エコ商品ねっと掲載　グリーン購入法適合商品

**防災品マーク**
この商品は防災用として長期保存ができる商品です。

**防災用品選定マーク**
災害により帰宅困難となり、オフィスに残る社員のために必要な装備となります。帰宅困難者対策条例では、社員のために、また改正消防法では自衛消防隊のために備蓄しておくことが義務付けられています。

# 商品選定

推奨防災品　防災品

# 防災商品別基準一覧

※ビズネットカタログに掲載されていない商品も含まれています。

## ヘルメット

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る　用途▸頭部の保護

★重要評価項目
- 飛来、落下物から頭部を守る(防護性)
- 軽くて、かぶっても活動の邪魔にならない
- 着用が簡単

●付加評価項目
- 脱げ防止機能がある
- 収納、携帯性に優れる
- 通気性がある
- 視認性が高い

## 防災頭巾

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る　用途▸頭部の保護

★重要評価項目
- 飛来、落下物から頭部を守る(防護性)
- 軽い
- 着用が簡単

●付加評価項目
- 脱げ防止機能がある
- 収納、携帯性に優れる
- 視認性が高い

## 保護メガネ

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る　用途▸目の保護

★重要評価項目
- 飛散、粉塵などから目を守る(防護性)
- 通常の視界が確保できる
- メガネの上からでも着用できる
- 着用が簡単

●付加評価項目
- 脱落しにくい
- 曇りにくい
- 軽い
- 購入しやすい価格

## 軍手

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る／移動する
用途▸体の保護／自分を守る

★重要評価項目
- 切り傷などの損傷防止
- 保温性(防寒用)

●付加評価項目
- 滑りにくい
- 耐水性(防水性)
- 肌にやさしい
  (吸汗性・柔軟性・伸縮性など)
- 摩擦に強い

## 防じんマスク

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る　用途▸頭部の保護

★重要評価項目
- 呼吸の際に外部からの埃や塵、煙などが取り込まれるのを防ぐ
- しっかり装着して脱落しない
- マスクと顔とのすき間ができにくい(密着性が高い)
- 皮膚に影響をあたえない(アレルギー対策)

●付加評価項目
- 呼吸がしやすい(排気弁付きなど)
- 耳が痛くなりにくい
- 静電気を防止する
- 液体防御性能(撥水性)がある
- 個別包装
- 薄くて軽い

## 革手袋

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る／周囲を守る
用途▸手・指の保護／救助する

★重要評価項目
- 瓦礫や鋭利なものから手を守る
  (切り傷などの損傷防止)
- 作業性(フィット感)がよい

●付加評価項目
- 耐熱性
- 耐薬品性
- 滑りにくい

## 安全靴

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る　用途▸足の保護

★重要評価項目
- 地面上の瓦礫や鋭利なもの、
  または落下物から足を守る(つま先保護)
- ガラスや釘などから足裏を保護する
  (踏み抜き防止)

●付加評価項目
- 防水性
- 耐滑性
- 軽い
- 履きやすい
- 着用が簡単

## 防災用スニーカー

法令　必須　重要　有効

目的▸移動する　用途▸自分を守る

★重要評価項目
- 長時間歩行でも疲労しにくい
- 履きやすい
- 地面上の瓦礫や鋭利なもの、
  または落下物から足を守る(つま先保護)
- ガラスや釘などから足裏を保護する(踏み抜き防止)

●付加評価項目
- 防水性
- 耐滑性
- 視認性が高い
- 靴底がすり減りにくい

## 防炎服

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る　用途▸体の保護

★重要評価項目
- 優れた耐熱性、難燃性を持ち、溶解しない
- 耐摩耗性、耐水性、耐薬品性がある
- 低い熱伝導率と優れた保温性
- 法規制に準拠している

●付加評価項目
- コンパクトに保管できる
  (持ち運びに便利)
- 軽い
- 視認性が高い
- 着用が簡単

## 転倒・落下・移動防止(家具・書類・PCなど)

法令　必須　重要　有効

目的▸避難する／データ保護対策／ファシリティー面での対策
用途▸退路の確保／データ保護対策／事業継続のための安全性確保

★重要評価項目
- 地震時の揺れによる家具、書棚、ＰＣなどの転倒を防止する
- 地震時の揺れによるキャスター付き機器、
  什器(コピー機、ラックなど)の走り出しを防止する
- 地震時の揺れによる書類の落下などを防止する　●通常作業を邪魔しない
- 長期間機能を保持する

●付加評価項目
- 家具や書棚などを傷めない　●取り付けが簡単　●美観を損ねないデザイン
- 調整ができる　●開閉時などの操作性がよい

## ライフジャケット

法令　必須　重要　有効

目的▸自分を守る　用途▸体の保護

★重要評価項目
- 衝撃から体を守る　●法規制に準拠している
- 適切な浮力がある　●瞬時に着用できる
- 体格への汎用性が高い

●付加評価項目
- 視認性が高い
- 脱げ防止機能がある
- 作業性がよい
  (身動きが自由)

## ガラス飛散防止フィルム・シート

法令　必須　重要　有効

目的▸避難する　用途▸退路の確保

★重要評価項目
- ガラスが割れても破片が飛び散らない
- 耐久性　●視界を妨げない
- 反射などによる周辺環境への影響が少ない

●付加評価項目
- 簡単に貼れる
- 遮熱効果がある
- 紫外線(ＵＶ)をカットする
- フィルムが薄く、
  傷がつきにくい(耐摩耗性)

## 避難用はしご

法令　必須　重要　有効

目的▸避難する　用途▸退路の確保

★重要評価項目
- 関連法令等に準拠している構造、
  材質が強度であること
- 誰でも使用可能

●付加評価項目
- 揺れにくい
- 持ち運びができる
- 軽量でコンパクトに
  収納できる
- 装着が簡単

## ロープ

法令　必須　重要　有効

目的▸避難する　用途▸退路の確保

★重要評価項目
- 硬さ、伸び、柔軟性がある
- 耐摩耗性、耐疲労性に優れる
- 耐水性

●付加評価項目
- 持ち運びが容易
- 視認性が高い

## 救助工具

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸救助する

★重要評価項目
- 非常時の避難や救助に使用できる
- 誰でも簡単に使用でき、持ち運びが可能
- 取り出しが簡単(工具は固定されており、バラバラにならない)
- 救助に使用できる強度を有する

●付加評価項目
- 工具は専用のケースにコンパクトに収納され、保管時にスペースをとらない
- 手入れが簡単である

## 携帯消火弾・消火剤

法令 必須 重要 有効

目的▸避難する　用途▸退路の確保

★重要評価項目
- 瞬時に退路を確保できる程度の消火能力がある
- 投げやすい
- 人体に無害(消火剤は皮膚に影響を与えない)で安全
- 持ち運びやすい

●付加評価項目
- 後始末が簡単
- 携帯できる形態
- 保管場所を選ばない

## 消火器

法令 必須 重要 有効

目的▸避難する　用途▸退路の確保

★重要評価項目
- 簡単にすばやく鎮火、消火できる
- 用途、目的に応じた消火能力を有する(粉末・化学泡・二酸化炭素)
- 8～10年の有効期間を有する

●付加評価項目
- 操作が簡単
- 使用後の清掃が容易
- メンテナンスが容易
- 錆びにくい

## 懐中電灯

法令 必須 重要 有効

目的▸避難する／移動する
用途▸避難する／自分を守る

★重要評価項目
- 長時間の点灯可能
- 必要な明るさが確保できる(一般的には100ルーメン程度)
- 軽量で丈夫　●防水性　●電池の入手が簡単

●付加評価項目
- 消費電力が少ない　●電池交換が容易にできる
- 電池不要で使用できる
- 明るさが変更できる(エコモード等)
- 誘導灯・ラジオ等の多機能を有する

## 音声地震津波警報器・煙探知機・火災警報器

法令 必須 重要 有効

目的▸避難する　用途▸退路の確保

★重要評価項目
- 地震、火災(熱・煙)などを検知して周囲に警報を音声で知らせることができる
- 法規制に準拠
- 長時間使用できる

●付加評価項目
- 警報をライトでも知らせる
- 取り付けた部屋すべてが無線で連動している
- 取り付けが容易
- ラジオ機能付き
- メンテナンスが容易

## 車載ハンマー

法令 必須 重要 有効

目的・用途▸避難する

★重要評価項目
- 適度な重さがあり、少ない力で車の窓などを簡単に割ることができる
- シートベルトカッターが付属されている

●付加評価項目
- 座席の横などすぐ手の届くところに保管できる
- 握りやすい

## 拡声器・メガホン

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸誘導する

★重要評価項目
- 高音声拡声(遠方まで声が届く)
- 長時間使用できる　●防塵、耐水、防滴仕様である

●付加評価項目
- 軽くて、持ちやすい
- 落下防止機能(ストラップ・フックなど)がある
- 抗菌処理がされており衛生的に使用できる
※近距離では、メガホンも有効(室内避難時等)

## 誘導灯・誘導棒

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸誘導する

★重要評価項目
- 視認性がある　●長時間使用できる
- 防塵、耐水、防滴仕様である

●付加評価項目
- 軽くて、疲れにくい(持ちやすい)
- 携帯用の落下防止機能(ストラップ・フックなど)がある

## 誘導標識・蓄光テープ

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸誘導する

★重要評価項目
- 緊急時の避難経路を明確にする
- 発光時間が長い(避難に必要な光を確保する)
- 耐久性がある(表面強度・耐熱性など)

●付加評価項目
- 電源が不要
- 燃焼時は有害物質を発生しない
- 取付けが簡単

## 誘導ベスト

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸誘導する

★重要評価項目
- 視認性に優れる　●作業性に優れる(動きやすい)

●付加評価項目
- 軽い　●通気性がある
- 洗浄できる
- 体格への汎用性がある(サイズ調整が可能)

## ホイッスル・呼子笛

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸誘導する

★重要評価項目
- 聞き取りやすく、大きく鋭い特殊音で遠方まで届く
- 軽く吹いても大きな音がでる

●付加評価項目
- 身分を示す機能がある(住所記載のシールなどが付属)
- 軽くて小さく、常に身につけて(手元に)置ける

## 担架

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸救護する

★重要評価項目
- 病人やけが人などを安全に搬送できる(衝撃を抑える、搬送者を固定するなど)
- 軽い(持ち運びが簡単)
- 丈夫である(耐久性)　●洗浄できる、汚れにくい

●付加評価項目
- 撥水性　●組立てやすく、搬送しやすい
- コンパクトに収納できる(ケース付きなど)

## 搬送用品

法令 必須 重要 有効

目的▸健康の維持／生活環境整備
用途▸ゴミ処理／生活環境整備

★重要評価項目
- ゴミ、排泄物、物資などの運搬に耐えうる強度がある
- 運搬時の安全性に配慮している
- 誰でも簡単に使用できる

●付加評価項目
- 軽い
- コンパクトに収納(保管)できる
- 清掃が可能

## 応急手当用品(三角巾・止血ロープなど)

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸救護する

★重要評価項目
- 応急処理ができる製品がセットされている
- 持ち運びができる
- ケースは丈夫で壊れにくい
- 衛生面を保つことができる

●付加評価項目
- 商品の入れ替えができる
- 期限管理ができる

## ブルーシート・ビニールシート

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る／ファシリティー面での対策
用途▸救助する／補修用品

★重要評価項目
- 強くて軽い　●紐を通せるハトメ穴が開いている
- 目張りの他、さまざまな用途(防風・防寒・防汚・雨避け等)で活用できる

●付加評価項目
- 簡単に持ち運べる
- コンパクトに収納できる

## AED(自動体外式除細動器)

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸救護する

★重要評価項目
- 誰にでも安心して使用できる(大人／小人)
- 操作が簡単(音声ガイドなど)
- 保管場所を選ばない(防じん、防水対応)

●付加評価項目
- 持ち運びが簡単
- 収納ケースがある
- 消耗品の交換が可能
- データ管理ができる(保管時の製品管理含む)

## 防火バケツ

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸拡大防止

★重要評価項目
- 消火活動に活用できる耐久性を要する
- 容量は8リットル以上あるもの

●付加評価項目
- 飲料水保管用タンクとしても使用できる
- 保管場所を選ばない(屋外に常備できる)

## 三角バケツ

法令 必須 重要 有効

目的▸周囲を守る　用途▸拡大防止

★重要評価項目
- 消火活動に活用できる耐久性を要するもの
- 容量は7リットル以上あるもの(4～6回程度に分けて投水可能)
- 投水しやすい
- 隅に置けて、邪魔にならない
- 倒れにくい構造

●付加評価項目
- 飲料水保存タンクとして活用できる

## 土のう

法令 必須 **重要** 有効

**目的**▸周囲を守る　**用途**▸拡大防止

**★重要評価項目**
- 越水や浸水を防止できる
- 取扱いが容易で迅速な作業ができる

**●付加評価項目**
- 省スペースで保管できる
- 持ち運びが容易である
- 後処理が簡単(使用後の対応等)である
- 積み上げが簡単
- 土を使用しないで使用できる

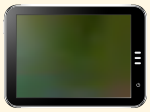
## テレビ・ワンセグテレビ

法令 **必須** 重要 有効

**目的・用途**▸災害の状況を確認する

**★重要評価項目**
- 誰でも簡単に操作できる
- 準備不要ですぐ使用できる

**●付加評価項目**
- 省エネ　●持ち運べる(移動できる)
- 携帯できる大きさ



## ラジオ

法令 **必須** 重要 有効

**目的・用途**▸災害の状況を確認する

**★重要評価項目**
- AM／FMの両方を選局できる
- 持ち運びに便利　●誰でも簡単に操作できる
- 長時間使用可能　●電池で使用できる

**●付加評価項目**
- 電源不要(ダイナモ式)　●省エネ
- ライトや携帯電話充電などの付加機能がある

## トランシーバー

法令 **必須** 重要 有効

**目的・用途**▸災害の状況を確認する

**★重要評価項目**
- わかりやすい操作性　●耐水性である
- 聴き取りやすい　●免許不要で使用できる

**●付加評価項目**
- 省電力(使用電池本数が少ないなど)
- 保管に場所を取らない(専用ケース付きなど)

## ホワイトボード・ボードマーカー・イレーザー

法令 必須 **重要** **有効**

**目的**▸災害の状況を確認する／ファシリティー面での対策
**用途**▸災害の状況を確認する／オフィススペース代替

**★重要評価項目**
- 持ち運びができる　●マグネットが使用できる
- キャップを外したままで長時間の作業が可能
- コンパクトに収納できすぐに利用できる

**●付加評価項目**
- 軽い
- 画面がスマートフォンに取り込める

## 模造紙・テープ

法令 必須 **重要** 有効

**目的・用途**▸災害の状況を確認する

**★重要評価項目**
- どこにでも貼り付けることができる

**●付加評価項目**
- 保管時に場所をとらない

## 災害用パーソナルコンピューター

法令 必須 重要 **有効**

**目的・用途**▸災害の状況を確認する

**★重要評価項目**
- 災害現場など過酷な環境での使用が可能
- 耐衝撃性、防水性、防塵性
- 持ち運びができる

**●付加評価項目**
- 長時間使用可能
- 持ち運びしやすいデザイン

## 保存水

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸生命の維持／移動する
**用途**▸水の確保／健康を維持する

**★重要評価項目**
- 長期保存ができる　●外箱の強度、耐久性
- 保存後の安全検証が行われている(5年以上の出荷実績がある)
- 関連法令に準拠している

**●付加評価項目**
- 製造年月日または賞味期限がわかりやすく印刷されている
- 省スペース設計
- 環境に配慮(容器・ゴミの排出が少ない)
- 空気に触れない工夫がされている

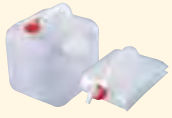
## 給水袋・ポリタンク

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸生命の維持　**用途**▸水の確保

**★重要評価項目**
- 衛生面に配慮している　●内部が洗浄しやすい
- 破損しにくい(破れにくい)
- 袋またはタンクの色が、白または透明である(中身が見える)

**●付加評価項目**
- 持ち運びやすい　●容器が倒れても水が漏れにくい
- 省スペース(携帯可能)
- 組立が簡単
- 蛇口(コック)付き
- 臭いがつきにくい



## 保存食

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸生命の維持　**用途**▸食料の確保

**★重要評価項目**
- 長期保存ができる
- 老人・子供でも食べることができる
- 必要な栄養を補給できる　●関連法令に準拠している

**●付加評価項目**
- 食器不要で食べられる(食器付)
- 省スペースで保存ができる　●おいしい
- 環境に配慮(容器・ゴミの排出が少ない)
- 調理不要で温かい食事ができる

## サプリメント

法令 必須 重要 **有効**

**目的**▸生命の維持／移動する
**用途**▸食料の確保／健康を維持する

**★重要評価項目**
- 長期保存ができる
- 誰でも食べやすく、飲みやすい
- 必要な栄養素をおぎなえる

**●付加評価項目**
- 速吸収性
- 小さくて軽く携帯できる大きさ
- アレルギー性要素の除去

## 紙製食器

法令 必須 **重要** 有効

**目的**▸生命の維持　**用途**▸食料の確保

**★重要評価項目**
- 軽くて運びやすい　●衛生的で安心である
- コンパクトに収納できる
- 使いすてできる価格
- ストックしやすい、使いやすい梱包単位

**●付加評価項目**
- 丈夫で使いやすい
- 断熱性がある

## 加熱器具

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸生命の維持　**用途**▸食料の確保

**★重要評価項目**
- 耐久性が高い　●省エネルギー
- 安全性が高い　●使い方が簡単

**●付加評価項目**
- 火を使わずに加熱できる
- 持ち運びしやすい
- 長期保存が可能
- 保存時はコンパクト
- 安定した発熱(加熱)が得られる

## 調理器具

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸生命の維持　**用途**▸食料の確保

**★重要評価項目**
- 耐久性が高い　●洗浄できる
- 作業上の安全性が高い
- 使い方が簡単

**●付加評価項目**
- 持ち運びしやすい
- 大人数に対応できる(効率的に作業できる)
- 長期保存が可能
- 省スペースで保存可能

## トイレットペーパー

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸生命の維持　**用途**▸災害用トイレ

**★重要評価項目**
- 通常品と同等の品質を有する
- コンパクトに保存することができる

**●付加評価項目**
- 消臭効果がある

## 災害用トイレ本体(組立式便座等)

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸生命の維持　**用途**▸災害用トイレ

**★重要評価項目**
- 衛生的に使用できる　●誰でも安全に使用できる
- 丈夫で軽い　●繰り返しの使用が可能
- 汚物の処理が簡単　●水に強い素材を使用

**●付加評価項目**
- 簡単にセット可能
- コンパクトに収納
- 持ち運びに便利

## 災害用トイレ(汚物処理袋+ビニール袋など)

法令 **必須** 重要 有効　**目的**▸生命の維持　**用途**▸災害用トイレ

**★重要評価項目**
- 丈夫で破れにくい　●便器への取り付け、取り外しが簡単　●消臭効果がある
- 衛生的に処理できる　●凝固材または吸収シートなどが付属されている
- 誰でも使用できる(男女兼用)　●長期保存が可能

**●付加評価項目**
- 使用後は一般ゴミとして処分可能
- 持ち運びに便利
- コンパクトに大量保存が可能
- 回収袋(収納袋)付き　●1回あたりの単価が安い
- 汚物が見えない

## ゴミ袋・回収袋

法令 **必須** 重要 有効

**目的**▸健康の維持　**用途**▸ゴミ処理

**★重要評価項目**
- 丈夫で破れにくい
- 水漏れ、液漏れがない
- 臭いが漏れにくい
- 中身が見えにくい

**●付加評価項目**
- 焼却時にダイオキシンや塩素ガスを発生しない
- 1枚ずつ取り出しやすいパッケージ
- 携帯できる大きさ

## ゴミ箱

法令 必須 **重要** 有効

**目的**▸健康の維持　**用途**▸ゴミ処理

**★重要評価項目**
- 充分な大きさと強度がある
- 水漏れ、液漏れがない　●丸洗いが可能

**●付加評価項目**
- 臭いが漏れにくい　●手を使わずに開閉できる
- ゴミなどが投入しやすい
- 持ち運び(移動)しやすい
- 折りたたみ式でコンパクトに収納できる

## 消臭剤・除菌剤

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 生命の維持／健康の維持
用途 ▸ 災害用トイレ／暑さ対策／ゴミ処理

★重要評価項目
- 菌や臭気の発生を防ぐ、除菌・消臭効果がある
- 人体に無害　●広範囲に効果がある
- コストが安く経済的

●付加評価項目
- 持続性が長い
- 携帯できる

## 消毒剤

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 生命の維持／健康の維持
用途 ▸ 災害用トイレ／衛生用品／ウイルス対策

★重要評価項目
- 手指の皮膚を保護し、優れた消毒効果を発揮する
- 手肌にやさしい（保温・保湿成分配合）

●付加評価項目
- 手指がべとつかない速乾性
- 消毒効果が長時間持続する
- 臭いがきつくない

## 簡易マット

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 睡眠をとる

★重要評価項目
- クッション性があり、床（地面）からの冷えを遮断する
- 素早く、簡単便利に使用できる　●耐久性がある

●付加評価項目
- 再使用できる（エアー抜き機能、洗浄可能など）
- コンパクトに収納できる

## 寝袋

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 睡眠をとる

★重要評価項目
- 安眠できる温かさ（防寒性）
- 床面（地面）からの冷気、硬さを和らげる
- コンパクトに収納可能

●付加評価項目
- 繰り返しの使用が可能（洗濯可能）
- 購入しやすい価格
- 誰でも使用できるサイズ

## 毛布

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 睡眠をとる

★重要評価項目
- 温かさを保って睡眠できる
- 床面（地面）からの冷気、硬さを和らげる
- 省スペースで大量保存ができる
- 長期間の保存が可能

●付加評価項目
- 再使用（クリーニング・再パック）できる
- 他の用途に使用できる

## サバイバルシート

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 寒さ対策

★重要評価項目
- 保温性および断熱性がある
- 人一人を十分に覆うサイズである
- 軽量でコンパクト、携帯できる
- 繰り返し使用可能

●付加評価項目
- 取り扱う際の音が小さい

## カイロ

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持／移動する
用途 ▸ 寒さ対策／健康を維持する

★重要評価項目
- 温かさが長時間持続する　●準備不要で使用できる
- 長期間保存できる　●携帯できる

●付加評価項目
- 用途に応じてサイズバリエーションがある

## 防寒着

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 寒さ対策

★重要評価項目
- 保温性、作業性が確保できるもの

●付加評価項目
- 吸放湿性
- 吸熱、発熱機能

## 暖房器具

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 寒さ対策

★重要評価項目
- 安全に使用できる（安全装置付き）
- 長時間使用可能　●空気を汚さない
- 広範囲を温められる

●付加評価項目
- 操作がしやすい
- 軽量で持ち運びができる（移動可能）
- 省スペース（場所をとらない）
- 静音　●電源不要

## 冷却シート

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 暑さ対策

★重要評価項目
- 高い冷却効果を長時間持続する
- 安心して使用できる（肌にやさしい）
- 携帯できる

●付加評価項目
- 繰り返し使用可能

## 扇風機（うちわなど）

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 暑さ対策

★重要評価項目
- 涼しさを保つ　●安全に使用できる
- 操作しやすい　●長時間使用可能
- 持ち運びができる（移動可能）
- 風量の調整可能
- 省スペースで保存可能（場所をとらない）

●付加評価項目
- 消費電力が少ない（省エネ設計）
- 静音

## タオル

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持
用途 ▸ 暑さ対策／衛生用品

★重要評価項目
- 使い捨てできる価格　●長期保存が可能
- 省スペースで大量保存が可能

●付加評価項目
- 防炎加工
- 除菌効果がある

## ラップフィルム

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 衛生用品

★重要評価項目
- 密着性、強度に優れる　●コンパクトに保管できる
- 皮膚への影響がない

●付加評価項目
- 使いやすいパッケージ
- 抗菌仕様
- 環境に配慮している

## 清掃用品（ぞうきん・ホウキ・チリトリなど）

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 衛生用品

★重要評価項目
- ゴミやほこりを清掃し清潔にすることができる
- 水不要でフキそうじが可能

●付加評価項目
- 保管時に場所を取らない

## 洗剤・石鹸・ハンドソープ

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 衛生用品

★重要評価項目
- 殺菌、洗浄力がある
- 手肌を清潔に保ち、感染を予防する

●付加評価項目
- 保湿成分を配合
- 携帯できる（ケースに入る）

## ウェットティッシュ・ティッシュペーパー

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持／移動する
用途 ▸ 衛生用品／健康を維持する

★重要評価項目
- 防湿性の高いパッケージ　●長期保存が可能
- コンパクトなパッケージで大量保存が可能

●付加評価項目
- 身体も拭けるサイズ（大判で入浴替わり）
- 消臭、除菌効果

## アメニティ用品（歯ブラシ・耳栓・アイマスクなど）

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 衛生用品／睡眠をとる

★重要評価項目
- 携帯性が高い（ケース付）

●付加評価項目
- 使い捨て品である
- 単価が安い

## 着替え用下着・靴下

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ 衛生用品

★重要評価項目
- 長期保存が可能

●付加評価項目
- 消臭効果
- 衛生面（使い捨て）対応
- 省スペースで保存

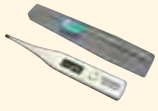
## 体温計

法令 必須 重要 有効

目的 ▸ 健康の維持　用途 ▸ ウイルス対策

★重要評価項目
- 計測時間が短く、計測結果が正確
- 見やすい　●誰でも簡単に使用できる
- 洗えて清潔に使用可能・感染症対策

●付加評価項目
- 電池持ちがよい
- 清潔を保つケース付



## サージカルマスク

法令 必須 **重要** 有効

**目的** ▸健康の維持／移動する
**用途** ▸ウイルス対策／自分を守る

**★重要評価項目**
- 密着性が高く口や鼻からの分泌物を撒き散らすのを防ぐ(伝染・感染防止)機能を有する
- 使い捨てできる大量パッケージ

**●付加評価項目**
- 個別包装

## 空気清浄機

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸健康の維持　**用途** ▸ウイルス対策

**★重要評価項目**
- 空気中に浮遊する塵埃、ウイルスや臭いを捕集、除去、または分解し、空間の空気を浄化する機能を有する
- メンテナンスが容易(フィルター交換など)

**●付加評価項目**
- 静音
- 消費電力が少ない(省エネ)

## ランタン

法令 必須 **重要** 有効

**目的・用途** ▸生活環境整備

**★重要評価項目**
- 地明かりを作る　●「持つ」「置く」「吊す」ことができる
- 火を使用せず安全に使用できる
- 長期保存可能
- 防水性

**●付加評価項目**
- コンパクトに収納可能
- 軽い
- 明るさが調整できる
- 懐中電灯としても使用可能
- 電源を必要としない

## 充電器

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸災害の状況を確認する／社員・家族の安否を確認する／生活環境整備／移動する
**用途** ▸災害の状況を確認する／社員・家族の安否を確認する／生活環境整備／情報を収集する

**★重要評価項目**
- 過充電防止機能

**●付加評価項目**
- 携帯できる
- 電源不要
(ダイナモ式、ソーラー式)
- コンパクトに収納可能

## コードリール

法令 必須 **重要** 有効

**目的・用途** ▸生活環境整備

**★重要評価項目**
- 屋内、屋外において電気製品と電源を接続する
- 防水性

**●付加評価項目**
- 防塵扉(カバー)、汚泥カバー付き
- 持ち運びやすい
- ブレーキストッパー付き
- コードが引っかかりにくい、ねじれにくい、巻きぐせが付きにくい
- 巻き取り時の 指の負担が軽減される
- メンテナンスしやすい

## 乾電池・蓄電池・充電池

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸災害の状況を確認する／社員・家族の安否を確認する／生活環境整備／情報を収集する／移動する／ファシリティー面での対策
**用途** ▸災害の状況を確認する／社員・家族の安否を確認する／生活環境整備／情報を収集する／インフラ代替え

**★重要評価項目**
- 汎用性が高い　●繰り返し使用可能(蓄電池・充電池)
- 電源がなくても電気製品が使用できる　●長期保存が可能

**●付加評価項目**
- 防滴加工

## 発電機

法令 必須 **重要** 有効

**目的・用途** ▸生活環境整備

**★重要評価項目**
- 災害時に非常用電源として使用できる
- 安定した電気供給が可能
- 長時間使用できる

**●付加評価項目**
- 操作が簡単
- 防音機能
- 省エネ設計
- 保管に適した形状

## 着火剤

法令 必須 **重要** 有効

**目的** ▸生命の維持　**用途** ▸食料の確保

**★重要評価項目**
- 簡単に火起こしができる

**●付加評価項目**
- 燃料として使用できる
- 臭い、煙などが少ない
- 持ち運びやすい大きさ

## 工具セット

法令 必須 **重要** 有効

**目的・用途** ▸生活環境整備

**★重要評価項目**
- 避難所にて使用可能な汎用性のある工具がセットになっている
- 持ち運びが簡単
- 工具としての強度がある

## 個室用テント

法令 必須 重要 **有効**

**目的・用途** ▸生活環境整備

**★重要評価項目**
- 組立、折り畳みが簡単

**●付加評価項目**
- 遮光性、採光性が高い
- 通気性がある(換気ができる)
- 軽くて、持ち運びが便利
- 緊急用トイレ用にもに使用可能
- 専用収納袋があり、コンパクトに保管できる
- 防水性

## 携行缶・缶燃料

法令 必須 **重要** 有効　**目的・用途** ▸生活環境整備

**★重要評価項目**
- 法規制に準拠している　●安全に給油ができる　●安全に保管できる

**●付加評価項目**
- ガソリンの持ち運びに便利な形状や大きさ
- コンパクトに保管(ノズルは本体収納式)
- 耐摩耗性、耐久性
- 安全に配慮した機能
(異物侵入防止フィルター付き、圧力調整ネジなど)
- 防錆耐性
(錆びに強いステンレス製、外装はメラミン焼付塗装など)

## 簡易間仕切り(マット含む)

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸生活環境整備／ファシリティー面での対策
**用途** ▸生活環境整備／オフィススペース代替

**★重要評価項目**
- 個人のプライバシーを保護し、視線の遮断や騒音の緩衝の役割を果たす
- 組立、折り畳みが簡単で、誰でも使用できる
- 保温性(床下からの寒さを防ぐなど)

**●付加評価項目**
- 軽くて丈夫、さらに持ち運びが便利
- 解体後、再利用またはリサイクルできる
- コンパクトに保管でき、専用収納袋がある　●安価な素材で作られている
- 滑りにくい
- 防災素材でできている。

## 防災用キャップなど

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸移動する　**用途** ▸自分を守る

**★重要評価項目**
- 飛来物、落下物から頭部を守る(防護性)

**●付加評価項目**
- 脱げ防止機能がある
- 収納、携帯性に優れる
- 視認性が高い

## リフレクター

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸移動する　**用途** ▸自分を守る

**★重要評価項目**
- 視認性が高い　●雨でも視認性が変わらない
- 着脱が簡単　●長時間、反射性能が持続する
- どこにでも身に付けられる
(軽量でコンパクト)

**●付加評価項目**
- 収納、携帯性に優れる

## メモ帳

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸移動する　**用途** ▸情報を収集する

**★重要評価項目**
- 筆記性(書きやすい)　●持ち運びに便利なサイズ
- 切り取りが簡単

**●付加評価項目**
- 用途による色分けができる(表紙の色違い)
- 耐水性に優れ、破れにくい

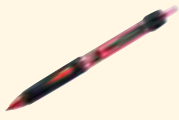
## ペン

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸移動する　**用途** ▸情報を収集する

**★重要評価項目**
- 筆記性(書きやすい)　●持ち運びに便利なサイズ
- 安定した筆記が可能(加圧式)　●耐久性

**●付加評価項目**
- 用途による色分けができる(インクの色違い)



## 地図

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸移動する **用途** ▸情報を収集する

**★重要評価項目**
- 防災時に必要な情報が掲載されている
- 持ち運びに便利なサイズ
- 破れにくい(防水性など)

**●付加評価項目**
- 防災マニュアルなどの情報が掲載されている

## 携帯栄養食

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸移動する **用途** ▸健康を維持する

**★重要評価項目**
- 調理不要　●長期保存が可能
- 栄養のバランスが良い
- 小さくて軽く携帯できる大きさ

**●付加評価項目**
- 誰でも食べやすい

## 携帯用トイレ

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸生命の維持 **用途** ▸災害用トイレ

**★重要評価項目**
- 丈夫で破れにくい　●携帯できる大きさ
- あまり臭わず、衛生的に処理できる
- 凝固材または吸収シートなどが付属されている
- 誰でも使用できる(男女兼用)

**●付加評価項目**
- 使用後は一般ゴミとして処分
- 目隠し用ポンチョが付属
- 1回あたりの単価が安い

## ポンチョ

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸移動する **用途** ▸健康を維持する

**★重要評価項目**
- 防風、防寒、防雨に効果がある
- 軽量でコンパクトで携帯できる
- 動きやすい
- どんな服装の上からでもかぶれる

**●付加評価項目**
- 耐久性がある
- 繰り返し使用可能

## 雷ガード・安全タップ

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸業務の継続 **用途** ▸データ保護対策

**★重要評価項目**
- 火災防止機能がある(埃防止カバー、絶縁カバーなど)
- 落雷などにより発生する誘導電流から接続機種を保護する
- 過電流防止機能がある(過電流を感知するとブレーカーが落ちるなど)

**●付加評価項目**
- 表示ランプ付き
- コンパクトで携帯性がある

## UPS(無停電装置)

法令 必須 重要 **有効**

**目的・用途** ▸データ保護対策

**★重要評価項目**
- 入力電源が遮断されても、停電することなく一定時間電力を供給する

**●付加評価項目**
- 厳しい環境下でも適応可能(氷点下環境下)
- 幅広い電圧範囲に適応できる
- 騒音が少ない
- 消耗品が長寿命である
- 小型で軽量である

## 衛星携帯電話・災害用PHS

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸ファシリティー面での対策
**用途** ▸オフィススペース代替え(通信)

**★重要評価項目**
- 災害時に確実につながり、通話・留守録、メールができる
- 長時間使用できる　●小型で軽量である

**●付加評価項目**
- ハンズフリー通話ができる
- 防じん性、防滴性、耐衝撃性
- 専用キャリーバック付き

## 防災テント

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸ファシリティー面での対策
**用途** ▸オフィススペース代替え

**★重要評価項目**
- 安心で安全な多人数の居住性能を実現する
- 錆びにくく、耐久性が高い
- 防水性

**●付加評価項目**
- 組立が簡単　●防炎性(二次災害防止)
- 通気性、遮光性
- 軽量、コンパクト

## 自転車

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸ファシリティー面での対策
**用途** ▸移動手段

**★重要評価項目**
- 体格への汎用性がある

**●付加評価項目**
- パンクしないタイヤを使用している

## 折りたたみテーブル・イス

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸ファシリティー面での対策 **用途** ▸オフィススペース代替え

**★重要評価項目**
- 丈夫で壊れにくい(強度・耐久性)　●安全に組み立て
- 折りたたんで保管ができる　●持ち運びができる　●清掃できる(拭き掃除)

**●付加評価項目**
- 耐熱性、耐水性、耐汚性
- コンパクト設計(テーブルとイスがコンパクトにケースにセット)
- 保管時にスペースを取らない
- 傷がつきにくい
- ガタつきが少ない
- 軽量

## エレベーター用防災備蓄ボックス

法令 **必須** 重要 有効

**目的** ▸生命の維持
**用途** ▸水の確保／食糧の確保／災害用トイレ

**★重要評価項目**
- エレベーターの閉じ込め事故に備蓄庫として利用できる
- セキュリティ機能がある
- 誰でも扉の開閉が可能
- セット品のメンテナンスが容易

**●付加評価項目**
- 省スペース

## 温度計・湿度計

法令 必須 **重要** 有効

**目的** ▸健康の維持 **用途** ▸ウイルス対策

**★重要評価項目**
- 計測結果が正確で、部屋の環境管理ができる
- 見やすい

**●付加評価項目**
- 移動できる(スタンド式)
- 管理指標付

## 防災倉庫

法令 必須 重要 **有効**

**目的** ▸ファシリティー面での対策
**用途** ▸事業継続のための安全性確保

**★重要評価項目**
- 防災用品をあらゆる環境(条件)から守る

**●付加評価項目**
- あらゆる自然環境に対応した耐久性
- 軽量で耐震性がある
- 設置が簡単
- 誰でも安心して使用(開閉など)できる

## ガムテープ(布)

法令 必須 **重要** 有効

**目的** ▸ファシリティー面での対策
**用途** ▸補修用品

**★重要評価項目**
- 柔軟で強度がある　●粘着力がある
- 手で切れる　●耐水性がある　●文字が書ける

**●付加評価項目**
- 視認性が高い

## 油性マジック

法令 必須 **重要** 有効

**目的** ▸災害の状況を確認する／ファシリティー面での対策
**用途** ▸災害の状況を確認する／補修用品

**★重要評価項目**
- あらゆる素材に書ける　●速乾性、耐水性
- キャップがないノック式で片手で簡単使用

**●付加評価項目**
- 長時間の作業でもペン先が乾かない　●刺激臭が少ない

## 防災セット全般

**★重要評価項目**
- 使用するタイミングに合った商品で構成されている
- 目的に応じた商品に過不足がない

**●付加評価項目**
- メンテナンス用の入れ換え商品が用意されている

# 導入シミュレーション
# (Simulation)

防災対策にはどの程度の費用がかかるのでしょうか。ここではA社様を想定し、
「最小限レベルの対策」「標準的なレベルでの対策」「安心レベルでの対策」それぞれのケースで費用計算してみます。

## A社様のケース

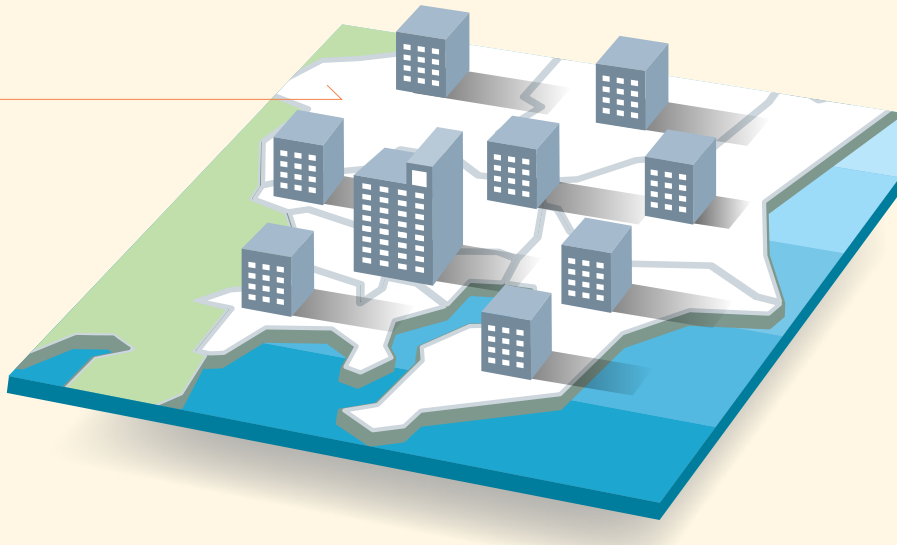
主力業務は顧客企業の事務代行。
そのため、災害からダメージを受けても業務継続ができるということが強みとなる業種である。

Corporate DATA

### 総社員数990名

**[内訳]**
本社：正社員500名＋派遣社員50名＝550名
支社：(正社員約50名＋派遣社員5名)×8支社＝440名

- 東京本社　自社ビル８階建て
- 関東に8支社
  (オフィスビルの1フロアをテナントとして使用)
- 本社総務と各支社に防災対策管理者1名を設置。
- 本社では消防計画上、各階ごとに自衛消防隊を組織。
  (各階5名程度)
- 各支社はテナント利用のため、テナントビル全体での消防計画に従っている。
  フロアにおける自衛消防隊がテナントビル全体の消防計画に従って組織されている。
- 営業車は全社で100台を保有する。



## 東京直下型震度7規模の事態を想定して防災対策を検討します。

**防災用品一覧表をベースに３段階で価格のシミュレーションを行います。**

| 防災用品一覧表 | 法令 | 必須 | 重要 | 有効 |
|---|---|---|---|---|
| 最小限レベルの対策 | ● | ● | | |
| 標準的なレベルでの対策 | ● | ● | ● | |
| 安心レベルでの対策 | ● | ● | ● | ● |

計算に含まれる項目

それぞれの総額と社員一人当たりの費用を計算します。
リスト化されているものをすべて対象にしていますが、
企業によってはすでに導入されている防災用品も多々あるかと思われますので、それらを省いてご覧ください。

シミュレーション内容・金額 － マイナス 対策済み内容 ＝ イコール 防災対策予算化目安

### シミュレーションにあたって

- 価格目安は定価（メーカー希望小売価格）で算出しています。
- サービス等の価格の標準化が難しいものなど、今回の算出には含んでいないものがあります。
- 防災用品はグレードにより大きく価格が変動する場合があります。あくまで目安としてご理解ください。
- 対法令の関係から、すでに完了していると思われる工事や装備についてもあえて含めているものもあります。
- ビズネットカタログに掲載されていない防災用品も含まれています。ご了承ください。

# 最小限レベルの対策

**社員一人当たり ¥82,032の費用**

●数量設定

○個人装備A（防御関連品）　（社員数900名＋派遣社員90名）＋（本社550名×10%）＝1,045名　東京都帰宅困難者条例による外部受け入れ分

○自衛消防隊装備（本社8フロア×5名）＋（8支社×5名）＝80名

○個人装備B（フェーズ2以降）　東京以外は帰宅できる社員がほとんどと想定できるが、業務継続のために人員の20%の備蓄を検討
東京（社員数500名＋派遣社員50名）＋支社エリア（社員352名＋派遣社員40名）×20%＝638名
支社社員の80%の352名には帰宅支援の装備を用意する。

○共通装備（基本）　本社は1フロアに1セット。支社は1支社に1セットと設定（他の理由により数が決まるものを除く）
東京8フロア＋支社8箇所＝16拠点　また営業車全社で100台

○本部装備…用途により設定

●「必須」にあたる防災用品および法令にて義務化されている防災用品を装備

## 最小限レベルプラン明細　（このリストは災害発生後から7日間程度の間に必要となるものを想定しています）

| 大分類 | | 目的・用途 | | 有期限商品 | 商品 | 価格目安 | 数量 | 小計 | 価格目安単位・備考 | 配備形態 | 法的装備義務 | | | 優先順位表示 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 1.帰宅困難者対策条例 | 2.改正消防法 | 3.火災予防条例 | |
| A 人・命を守る | A | 自分を守る | 1.頭部の保護 | | ヘルメット・防災頭巾 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 保護メガネ | 1,000 | 1,045 | 1,045,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 重要 |
| | | | | | マスク（防じんマスク） | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 2.体の保護 | | 軍手・革手袋 | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 安全靴・防災用スニーカー | 4,000 | 80 | 320,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 重要 |
| | | | | | 防災服 | 10,000 | 80 | 800,000 | 1人1着（自衛消防隊誘導担当者数） | 個人装備 | | ○ | ○ | 有効 |
| | | | | | ライフジャケット（地形的な環境を含めて検討） | 5,000 | 1,045 | 5,225,000 | 1人1着 | 共有装備 | | ○ | ○ | 有効 |
| | | 避難する | 3.退路の確保 | | 家具等の転倒防止 | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり（3人で2台の収納庫費用を按分） | 共有装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | | PCの転倒防止・書類等の落下防止 | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり（3人で2台の収納庫費用を按分） | 共有装備 | | ○ | | 重要 |
| | | | | | ガラス飛散防止フィルム・シート | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり（3人で2台の収納庫費用を按分） | 共有装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | | 避難用はしご・ロープ | 2,500 | 16 | 40,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 救助工具（バール・ジャッキなど） | 36,000 | 16 | 576,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | ○ | 消火器・携帯消火弾 | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に2つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 煙探知機・火災警報器・音声地震津波警報機 | ー | | | 建築設備 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 4.避難する | | 懐中電灯 | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 車載ハンマー（自動車用） | 3,500 | 100 | 350,000 | 1台（自動車1台に1つ） | 共有装備 | | ○ | ○ | 重要 |
| | B | 周囲を守る | 5.誘導する | | 拡声器・メガホン | 13,000 | 16 | 208,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 誘導灯・誘導棒 | 3,000 | 32 | 96,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 誘導標識・蓄光テープ | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア費用に按分 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 誘導ベスト | 2,000 | 80 | 160,000 | 1人（自衛消防隊誘導担当者数） | 共有装備 | | ○ | ○ | 有効 |
| | | | 6.救助する | | 救助工具（バール・ジャッキなど） | 36,000 | 兼 | | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 革手袋 | 1,000 | 80 | 80,000 | 1人（自衛消防隊誘導担当者数） | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | エレベーター用防災備蓄ボックス | 200,000 | 40 | 8,000,000 | 各エレベーター1台 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | ホイッスル・呼子笛 | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 7.救護する | | 担架 | 30,000 | 16 | 480,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | ブルーシート・ビニールシート | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | AED | 300,000 | 10 | 3,000,000 | 1フロア1つ | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 応急手当用品（三角巾・止血テープなど） | 75,000 | 16 | 1,200,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 8.拡大防止 | ○ | 消火器・防火バケツ・三角バケツ | 20,000 | 16 | 320,000 | 1台（400㎡に1つ） | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| B 災害時の情報収集 | | 9.災害の状況を確認する | | | テレビ・ラジオ | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | ○ | 予備電源（発電機・充電器・蓄電池・乾電池） | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | トランシーバー | 100,000 | 32 | 3,200,000 | 2台～3台自衛消防隊に1セット | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | （災害情報提供サービス） | ー | | | | 本部装備 | | | | 必須 |
| | | 10.社員・家族の安否を確認する | | ○ | 携帯電話予備電源（充電器・充電池・乾電池） | 10,000 | 1,045 | 10,450,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | | （安否確認マニュアル） | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1冊（全社員分） | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | （安否確認サービス） | ー | | | | 個人/本部 | | | | 必須 |
| C 災害時に無いと困るもの | A | 生命の維持に必要なもの | 11.水の確保 | ○ | 保存水（5年以上） | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人（3日分） | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必須 |
| | | | | | 給水袋・ポリタンク | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 12.食料の確保 | ○ | 保存食 | 6,000 | 1,045 | 6,270,000 | 1人（3日分） | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必須 |
| | | | | | 加熱器具（ヒートパック、カセットコンロなど） | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人（3日分） | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 調理器具（鍋、釜など） | 10,000 | 48 | 480,000 | 1フロア1セット | 本部装備 | | | | 必須 |
| | | | 13.災害用トイレ | | 災害用トイレ（組み立て式便座等） | 10,000 | 53 | 530,000 | 20名に1台程度 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 災害用トイレ消耗品（汚物処理剤+ビニール袋） | 4,500 | 1,045 | 4,702,500 | 1人（3日分） | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | トイレットペーパー | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人（3日分） | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 消毒剤・消臭剤・除菌剤 | 2,000 | 48 | 96,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | B | 健康の維持に必要なもの | 14.睡眠をとる | ○ | 毛布 | 2,500 | 1,045 | 2,612,500 | 1人1枚 | 共有装備 | ○ | | | 必須 |
| | | | 15.寒さ対策 | | サバイバルシート | 350 | 1,045 | 365,750 | 1人1枚 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 16.暑さ対策 | | タオル（体ふきタオル等） | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 17.衛生用品 | | ラップフィルム | 7,000 | 16 | 112,000 | 1フロア1セット（10本） | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 消毒剤・除菌剤・殺虫剤 | 2,000 | 48 | 96,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 洗剤・石鹸・ハンドソープ | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 着替え用下着・靴下 | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人2セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 18.ごみ処理 | | 回収用ゴミ袋 | 20 | 1,045 | 20,900 | 1人（3日分） | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | 20.生活環境整備 | | ○ | 乾電池・蓄電池・蓄電器 | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア分 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | C | 移動する（帰宅等） | 21.自分を守る | | 帽子・バンダナ・ヘルメット・防災用キャップなど | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 応急手当用品 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 懐中電灯 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | 22.情報を収集する | | ラジオ・ワンセグテレビ等 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 充電器・乾電池・充電池 | 5,000 | 1,045 | 5,225,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | メモ帳（撥水ペーパー）・ペン（油性/加圧式） | 400 | 1,045 | 418,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | 23.健康を維持する | ○ | 保存水（5年以上） | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1ℓ | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 携帯用栄養食 | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 携帯用簡易トイレ | 600 | 1,045 | 627,000 | 1人3回分 | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | | ウエットティッシュ・ティッシュペーパー | 100 | 1,045 | 104,500 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | カイロ | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人1つ | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | | ポンチョ | 500 | 1,045 | 522,500 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| D 業務の継続に向けて必要なもの | A | 24.データ保護対策 | | | （データセンターサービス） | ー | | | | 本部装備 | | | | 必須 |
| | B | ファシリティー面での対策 | 25.事業継続のための安全性確保 | | 家具等の転倒防止 | 1,500 | 兼 | | 1人あたり（3人で2台の収納庫費用を按分） | 本部装備 | | ○ | | 必須 |

**有期限防災用品合計¥41,006,750　　総合計金額¥85,723,150**

# 標準的なレベルでの対策

**社員一人当たり ¥104,409の費用**

●数量設定

○個人装備A(防御関連品)　(社員数900名+派遣社員90名)+(本社550名×10%)=1,045名　東京都帰宅困難者条例による外部受け入れ分

○自衛消防隊装備(本社8フロア×5名)+(8支社×5名)=80名

○個人装備B(生活用品)　個人装備Aと同様に全社員分+10%の外部受け入れ分を装備

○共通装備(基本)　本社は1フロアに1セット。支社は1支社に1セットと設定(他の理由により数が決まるものを除く)
東京8フロア+支社8箇所=16拠点　また営業車全社で100台

○本部装備…用途により設定

●「必須」「重要」にあたる防災用品および法令にて義務化されている防災用品を装備

## 標準的なレベルプラン明細 (このリストは災害発生後から7日間程度の間に必要となるものを想定しています)

| 大分類 | 目的・用途 | | | 有期限商品 | 商品 | 価格目安 | 数量 | 小計 | 価格目安単位・備考 | 配備形態 | 法的装備義務 1.帰宅困難者対策条例 | 法的装備義務 2.改正消防法 | 法的装備義務 3.火災予防条例 | 優先順位表示 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A 人・命を守る | A | 自分を守る | 1.頭部の保護 | | ヘルメット・防災頭巾 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 保護メガネ | 1,000 | 1,045 | 1,045,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 重要 |
| | | | | | マスク(防じんマスク) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 2.体の保護 | | 軍手・革手袋 | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 安全靴・防災用スニーカー | 4,000 | 80 | 320,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 重要 |
| | | | | | 防炎服 | 10,000 | 80 | 800,000 | 1人1着(自衛消防隊誘導担当者数) | 個人装備 | | ○ | ○ | 有効 |
| | | | | | ライフジャケット(地形的な環境を含めて検討) | 5,000 | 1,045 | 5,225,000 | 1人1着 | 共有装備 | | ○ | ○ | 有効 |
| | | 避難する | 3.退路の確保 | | 家具等の転倒防止 | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 共有装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | | PCの転倒防止・書類等の落下防止 | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 共有装備 | | ○ | | 重要 |
| | | | | | ガラス飛散防止フィルム・シート | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 共有装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | | 避難用はしご・ロープ | 2,500 | 16 | 40,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 救助工具(バール・ジャッキなど) | 36,000 | 16 | 576,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | ○ | 消火器・携帯消火弾 | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に2つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 煙探知機・火災警報器・音声地震津波警報機 | – | | | 建築設備 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 4.避難する | | 懐中電灯 | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 車載ハンマー(自動車用) | 3,500 | 100 | 350,000 | 1台(自動車1台に1つ) | 共有装備 | | ○ | ○ | 重要 |
| | B | 周囲を守る | 5.誘導する | | 拡声器・メガホン | 13,000 | 16 | 208,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 誘導灯・誘導棒 | 3,000 | 32 | 96,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 誘導標識・蓄光テープ | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア費用に按分 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 誘導ベスト | 2,000 | 80 | 160,000 | 1人(自衛消防隊誘導担当者数) | 共有装備 | | ○ | ○ | 有効 |
| | | | 6.救助する | | 救助工具(バール・ジャッキなど) | 36,000 | 兼 | | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 革手袋 | 1,000 | 80 | 80,000 | 1人(自衛消防隊誘導担当者数) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | エレベーター用防災備蓄ボックス | 200,000 | 40 | 8,000,000 | 各エレベーター1台 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | ホイッスル・呼子笛 | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 7.救護する | | 担架 | 30,000 | 16 | 480,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | ブルーシート・ビニール | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | AED | 300,000 | 10 | 3,000,000 | 1フロア1つ | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 応急手当用品(三角巾・止血テープなど) | 75,000 | 16 | 1,200,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | 8.拡大防止 | ○ | 消火器・防火バケツ・三角バケツ | 20,000 | 16 | 320,000 | 1台(400ml1つ) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | 土のう(水害用) | 700,000 | 9 | 6,300,000 | 100個 | 本部装備 | | | | 重要 |
| B 災害時の情報収集 | 9.災害の状況を確認する | | | | テレビ・ラジオ | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | ○ | 予備電源(発電機・充電器・蓄電池・乾電池) | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | トランシーバー | 100,000 | 32 | 3,200,000 | 2台~3台自衛消防隊に1セット | 共有装備 | | ○ | ○ | 必須 |
| | | | | | ホワイトボード・ボードマーカー・イレーザー | 35,000 | 16 | 560,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 模造紙・テープ・油性マジック | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | (災害情報提供サービス) | – | | | | 本部装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 災害用PC | 300,000 | 9 | 2,700,000 | 本部に1台 | 本部装備 | | | | 重要 |
| | 10.社員・家族の安否を確認する | | | ○ | 携帯電話予備電源(充電器・充電池・乾電池) | 10,000 | 1,045 | 10,450,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | | (安否確認マニュアル) | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1冊(全社員分) | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | (安否確認サービス) | – | | | | 個人/本部 | | | | 必須 |
| C 災害時に無いと困るもの | A | 生命の維持に必要なもの | 11.水の確保 | ○ | 保存水(5年以上) | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人(3日分) | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必須 |
| | | | | | 給水袋・ポリタンク | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 12.食料の確保 | ○ | 保存食 | 6,000 | 1,045 | 6,270,000 | 1人(3日分) | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必須 |
| | | | | | 簡易食器(紙食器等) | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 加熱器具(ヒートパック、カセットコンロなど) | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 調理器具(鍋、釜など) | 10,000 | 48 | 480,000 | 1フロア1セット | 本部装備 | | | | 必須 |
| | | | 13.災害用トイレ | | 災害用トイレ(組み立て式便座等) | 10,000 | 53 | 530,000 | 20名に1台程度 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 災害用トイレ消耗品(汚物処理剤+ビニール袋) | 4,500 | 1,045 | 4,702,500 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | トイレットペーパー | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | ゴミ運搬具 | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 本部装備 | | | | 重要 |
| | | | | | ゴミ袋・ゴミ箱 | 20 | 1,045 | 20,900 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 消毒剤・消臭剤・除菌剤 | 2,000 | 48 | 96,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | B | 健康の維持に必要なもの | 14.睡眠をとる | | 簡易マット | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人1枚 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | ○ | 毛布 | 2,500 | 1,045 | 2,612,500 | 1人1枚 | 共有装備 | ○ | | | 必須 |
| | | | | | サバイバルシート | 350 | 1,045 | 365,750 | 1人1枚 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 15.寒さ対策 | ○ | カイロ | 150 | 1,045 | 156,750 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 暖房器具 | 30,000 | 35 | 1,050,000 | 10坪に1台目安 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | 16.暑さ対策 | | 冷却シート | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 扇風機・うちわ | 1,000 | 1,045 | 1,045,000 | 1人(扇風機料金を人数で按分) | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | タオル(体ふきタオル等) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 17.衛生用品 | | ラップフィルム | 7,000 | 16 | 112,000 | 1フロア1セット(10本) | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 消捕用品 | 5,000 | 16 | 80,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 消毒剤・除菌剤・殺虫剤 | 2,000 | 48 | 96,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 洗剤・石鹸・ハンドソープ | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | ウエットティシュ・ティッシュペーパー | 100 | 1,045 | 104,500 | 1人1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | タオル(ハンドタオル・ペーパータオル・体ふきタオル) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 重要 |
| | | | | | アメニティ用品(歯ブラシセットなど) | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 着替え用下着・靴下 | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人2セット | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | 18.ごみ処理 | | ゴミ箱 | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア3セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 回収用ゴミ袋 | 20 | 1,045 | 20,900 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 消臭剤・除菌剤 | 2,000 | 兼 | | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | ゴミ運搬具 | 5,000 | 16 | 80,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | 19.ウイルス対策 | | マスク(サージカルマスク) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人3枚(3日分) | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | ゴミ袋等 | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 消毒剤・除菌剤 | 2,000 | 兼 | | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 体温計 | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロア2セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 温度計・湿度計 | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | 20.生活環境整備 | | ランタン | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア3~4台 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | ○ | 乾電池・充電池・蓄電池・蓄電器 | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア分 | 共有装備 | | | | 必須 |
| | | | | | コードリール | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 発電機・缶燃料等(燃料用の危険物保管施設が必要) | 60,000 | 16 | 960,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 着火剤 | 500 | 16 | 8,000 | 1フロア1つ | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 工具セット | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 簡易間仕切り(マット含む) | 50,000 | 16 | 800,000 | 1フロア2ブース分 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | C | 移動する(帰宅等) | 21.自分を守る | | 帽子・バンダナ・ヘルメット・防災用キャップなど | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 軍手 | 300 | 兼 | | 1人1つ | 個人装備 | | | | 重要 |
| | | | | | マスク(サージカルマスク) | 200 | 兼 | | 1人1つ | 個人装備 | | | | 重要 |
| | | | | ○ | 応急手当用品 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | 懐中電灯 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | スニーカー(防災スニーカーなら、さらに良し) | – | | | 個人で用意 | 個人装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 車載ハンマー(自動車用) | 3,500 | 兼 | | 1台(自動車1台に1つ) | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | 22.情報を収集する | | ラジオ・ワンセグテレビ等 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 充電器・乾電池・充電池 | 5,000 | 1,045 | 5,225,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | | メモ帳(撥水ペーパー)・ペン(油性/加圧式) | 400 | 1,045 | 418,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | 23.健康を維持する | ○ | 保存水(5年以上) | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1ℓ | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 携帯用栄養食 | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | 携帯用簡易トイレ | 600 | 1,045 | 627,000 | 1人3回分 | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | | ウエットティシュ・ティッシュペーパー | 100 | 1,045 | 104,500 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| | | | | ○ | カイロ | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人1つ | 個人/共有 | | | | 必須 |
| | | | | | ポンチョ | 500 | 1,045 | 522,500 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必須 |
| D 業務の継続に向けて必要なもの | A | 24.データ保護対策 | | | PCの転倒防止・書類等の落下防止 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | デスクトップPC1台 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | (データセンターサービス) | – | | | | 本部装備 | | | | 必須 |
| | B | ファシリティー面での対策 | 25.事業継続のための安全性確保 | | 家具等の転倒防止 | 1,500 | 兼 | | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 本部装備 | | ○ | | 必須 |
| | | | | | 書類等の落下防止 | 1,500 | 兼 | | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 本部装備 | | | | 重要 |
| | | | 26.インフラ代替(電気) | | 蓄電池 | 165,000 | 16 | 2,640,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 発電機 | 60,000 | 16 | 960,000 | 1フロア1台 | 本部装備 | | | | 重要 |
| | | | 30.補修用品 | | ブルーシート・ビニールシート | 15,000 | 9 | 135,000 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重要 |
| | | | | | ロープ | 2,500 | 9 | 22,500 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重要 |
| | | | | | ガムテープ(布) | 10,000 | 9 | 90,000 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重要 |
| | | | | | 油性マジック | 5,000 | 9 | 45,000 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重要 |

**有期限防災用品合計¥41,163,500　総合計金額¥109,107,050**

# 安心レベルでの対策

**社員一人当たり ¥149,446の費用**

●数量設定　標準レベル同様　　●「必須」「重要」「有効」にあたる防災用品および法令にて義務化されている防災用品を装備

## 安心レベルプラン明細（このリストは災害発生後から7日間程度の間に必要となるものを想定しています）

| 大分類 | | 目的・用途 | | 有期限商品 | 商品 | 価格目安 | 数量 | 小計 | 価格目安単位・備考 | 配備形態 | 法的装備義務 1.帰宅困難者対策条例 | 法的装備義務 2.改正消防法 | 法的装備義務 3.火災予防条例 | 優先順位表示 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A 人・命を守る | A | 自分を守る | 1.頭部の保護 | | ヘルメット・防災頭巾 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 保護メガネ | 1,000 | 1,045 | 1,045,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 重 要 |
| | | | | | マスク(防じんマスク) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | 2.体の保護 | | 軍手・革手袋 | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 安全靴・防災用スニーカー | 4,000 | 80 | 320,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 重 要 |
| | | | | | 防災服 | 10,000 | 80 | 800,000 | 1人1着（自衛消防隊誘導担当者数） | 個人装備 | | ○ | ○ | 有 効 |
| | | | | | ライフジャケット(地形的な環境を含めて検討) | 5,000 | 1,045 | 5,225,000 | 1人1着 | 共有装備 | | ○ | ○ | 有 効 |
| | | 避難する | 3.退路の確保 | | 家具等の転倒防止 | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 共有装備 | | ○ | | 必 須 |
| | | | | | PCの転倒防止・書類等の落下防止 | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 共有装備 | | ○ | | 重 要 |
| | | | | | ガラス飛散防止フィルム・シート | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 共有装備 | | ○ | | 必 須 |
| | | | | | 避難用はしご・ロープ | 2,500 | 16 | 40,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 救助工具(バール・ジャッキなど) | 36,000 | 16 | 576,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | ○ | 消火器・携帯消火弾 | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に2つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 煙探知機・火災警報器・音声地震津波警報機 | – | | | 建築設備 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | 4.避難する | | 懐中電灯 | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 車載ハンマー(自動車用) | 3,500 | 100 | 350,000 | 1台(自動車1台に1つ) | 共有装備 | | ○ | ○ | 重 要 |
| | B | 周囲を守る | 5.誘導する | | 拡声器・メガホン | 13,000 | 16 | 208,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 誘導灯・誘導棒 | 3,000 | 32 | 96,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 誘導標識・蓄光テープ | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア費用に按分 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 誘導ベスト | 2,000 | 80 | 160,000 | 1人(自衛消防隊誘導担当者数) | 共有装備 | | ○ | ○ | 有 効 |
| | | | 6.救助する | | 救助工具(バール・ジャッキなど) | 36,000 | 兼 | | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 革手袋 | 1,000 | 80 | 80,000 | 1人(自衛消防隊誘導担当者数) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | エレベーター用防災備蓄ボックス | 200,000 | 40 | 8,000,000 | 各エレベーター1台 | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | ホイッスル・呼子笛 | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | 7.救護する | | 担架 | 30,000 | 16 | 480,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | ○ | ブルーシート・ビニールシート | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | AED | 300,000 | 10 | 3,000,000 | 1フロア1つ | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | 応急手当用品(三角巾・止血テープなど) | 75,000 | 16 | 1,200,000 | 1フロアもしくは自衛消防隊に1つ | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | 8.拡大防止 | ○ | 消火器・防火バケツ・三角バケツ | 20,000 | 16 | 320,000 | 1台(400mに1つ) | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | 土のう(水害用) | 700,000 | 9 | 6,300,000 | 100個 | 本部装備 | | | | 重 要 |
| B 災害時の情報収集 | 9.災害の状況を確認する | | | | テレビ・ラジオ | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | ○ | | 必 須 |
| | | | | ○ | 予備電源(発電機・充電器・蓄電池・乾電池) | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | トランシーバー | 100,000 | 32 | 3,200,000 | 2台～3台目衛消防隊に1セット | 共有装備 | | ○ | ○ | 必 須 |
| | | | | | ホワイトボード・ボードマーカー・イレーザー | 35,000 | 16 | 560,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 模造紙・テープ・油性マジック | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | (災害情報提供サービス) | – | | | | 本部装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 災害用PC | 300,000 | 9 | 2,700,000 | 本部に1台 | 本部装備 | | | | 重 要 |
| | 10.社員・家族の安否を確認する | | | ○ | 携帯電話予備電源(充電器・充電池・乾電池) | 10,000 | 1,045 | 10,450,000 | 1人1つ | 個人装備 | | ○ | | 必 須 |
| | | | | | (安否確認マニュアル) | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1冊(全社員分) | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | (安否確認サービス) | – | | | | 個人/本部 | | | | 必 須 |
| C 災害時に無いと困るもの | A | 生命の維持に必要なもの | 11.水の確保 | ○ | 保存水(5年以上) | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人(3日分) | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必 須 |
| | | | | | 給水袋・ポリタンク | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | 12.食料の確保 | ○ | 保存食 | 6,000 | 1,045 | 6,270,000 | 1人(3日分) | 個人/共有 | ○ | ○ | | 必 須 |
| | | | | ○ | サプリメント等 | 1,000 | 1,045 | 1,045,000 | 1人(4日分) | 個人/共有 | | | | 有 効 |
| | | | | | 簡易食器(紙食器等) | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 加熱器具(ヒートパック、カセットコンロなど) | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 調理器具(鍋、釜など) | 10,000 | 48 | 480,000 | 1フロア1セット | 本部装備 | | | | 必 須 |
| | | | 13.災害用トイレ | | 災害用トイレ(組み立て式便座等) | 10,000 | 53 | 530,000 | 20名に1台程度 | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | 災害用トイレ消耗品(汚物処理剤+ビニール袋) | 4,500 | 1,045 | 4,702,500 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | トイレットペーパー | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | ゴミ運搬具 | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 本部装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | ゴミ袋・ゴミ箱 | 20 | 1,045 | 20,900 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 消毒剤・消臭剤・除菌剤 | 2,000 | 48 | 96,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | B | 健康の維持に必要なもの | 14.睡眠をとる | | 簡易マット | 1,500 | 1,045 | 1,567,500 | 1人1枚 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 寝袋・寝具 | 6,000 | 1,045 | 6,270,000 | 1人1つ | 共有装備 | | | | 有 効 |
| | | | | ○ | 毛布 | 2,500 | 1,045 | 2,612,500 | 1人1枚 | 共有装備 | ○ | | | 必 須 |
| | | | | | 耳栓・アイマスク | 1,000 | 1,045 | 1,045,000 | 1人1つ | 共有装備 | | | | 有 効 |
| | | | 15.寒さ対策 | | サバイバルシート | 350 | 1,045 | 365,750 | 1人1枚 | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | カイロ | 150 | 1,045 | 156,750 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 暖房器具 | 30,000 | 35 | 1,050,000 | 10坪に1台目安 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 防寒着 | – | | | 個人で用意 | 個人装備 | | | | 有 効 |
| | | | 16.暑さ対策 | | 冷却シート | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 扇風機・うちわ | 1,000 | 1,045 | 1,045,000 | 1人(扇風機料金を人数で按分) | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | タオル(体ふきタオル等) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人 | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | 17.衛生用品 | | ラップフィルム | 7,000 | 16 | 112,000 | 1フロア1セット(10本) | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 清掃用品 | 5,000 | 16 | 80,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 消毒剤・除菌剤・殺虫剤 | 2,000 | 48 | 96,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 洗剤・石鹸・ハンドソープ | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | ウエットティシュ・ティッシュペーパー | 100 | 1,045 | 104,500 | 1人1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | タオル(ハンドタオル・ペーパータオル・体ふきタオル) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | アメニティ用品(歯 ブラシセットなど) | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 着替え用下着・靴下 | 3,000 | 1,045 | 3,135,000 | 1人2セット | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | 18.ごみ処理 | | ゴミ箱 | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア3セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 回収用ゴミ袋 | 20 | 1,045 | 20,900 | 1人(3日分) | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 消臭剤・除菌剤 | 2,000 | 兼 | | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | ゴミ運搬具 | 5,000 | 16 | 80,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | 19.ウイルス対策 | | マスク(サージカルマスク) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人3枚(3日分) | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | ゴミ袋等 | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 消毒剤・除菌剤 | 2,000 | 兼 | | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 体温計 | 2,000 | 16 | 32,000 | 1フロア2セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 温度計・湿度計 | 3,000 | 16 | 48,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 空気清浄機 | 150,000 | 16 | 2,400,000 | 1フロア3～4台 | 共有装備 | | | | 有 効 |
| | | 20.生活環境整備 | | | ランタン | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア3～4台 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | ○ | 乾電池・充電池・蓄電池・蓄電器 | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア分 | 共有装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | コードリール | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 発電機・缶燃料等(燃料用の危険物保管施設が必要) | 60,000 | 16 | 960,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 着火剤 | 500 | 16 | 8,000 | 1フロア1つ | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 工具セット | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 個室用テント | 20,000 | 16 | 320,000 | 1フロア2張 | 共有装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | 簡易間仕切り(マット含む) | 50,000 | 16 | 800,000 | 1フロア2ブース分 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 搬送用品(リヤカー・一輪車・台車等) | 10,000 | 16 | 160,000 | 1フロア1セット | 共有装備 | | | | 有 効 |
| | C | 移動する(帰宅等) | 21.自分を守る | | 帽子・バンダナ・ヘルメット・防災用キャップなど | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 軍手 | 300 | 兼 | | 1人1つ | 個人装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | マスク(サージカルマスク) | 200 | 兼 | | 1人1つ | 個人装備 | | | | 重 要 |
| | | | | ○ | 応急手当用品 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 懐中電灯 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | ホイッスル・呼子笛 | 200 | 兼 | | 1人1つ | 個人装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | リフレクター(反射板) | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | スニーカー(防災スニーカーなら、さらに良し) | – | | | 個人で用意 | 個人装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 車載ハンマー(自動車用) | 3,500 | 兼 | | 1台(自動車1台に1つ) | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | 22.情報を収集する | | ラジオ・ワンセグテレビ等 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | 充電器・乾電池・充電池 | 5,000 | 1,045 | 5,225,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | メモ帳(撥水ペーパー)・ペン(油性/加圧式) | 400 | 1,045 | 418,000 | 1人1セット | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | | 地図(携帯用) | – | | | 個人で用意 | 個人装備 | | | | 有 効 |
| | | | 23.健康を維持する | ○ | 保存水(5年以上) | 300 | 1,045 | 313,500 | 1人1ℓ | 個人/共有 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | 携帯用栄養食 | 200 | 1,045 | 209,000 | 1人1つ | 個人/共有 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | 携帯用簡易トイレ | 600 | 1,045 | 627,000 | 1人3回分 | 個人/共有 | | | | 必 須 |
| | | | | | ウエットティシュ・ティッシュペーパー | 100 | 1,045 | 104,500 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必 須 |
| | | | | ○ | カイロ | 50 | 1,045 | 52,250 | 1人1つ | 個人/共有 | | | | 必 須 |
| | | | | | ポンチョ | 500 | 1,045 | 522,500 | 1人1つ | 個人装備 | | | | 必 須 |
| D 業務の継続に向けて必要なもの | A | 24.データ保護対策 | | | PCの転倒防止・書類等の落下防止 | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | デスクトップPC1台 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | UPS(無停電装置) | 10,000 | 1,045 | 10,450,000 | 1人(機器費用を人数分で按分) | 共有装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | 雷ガード・安全タップ | 2,000 | 1,045 | 2,090,000 | 1人1個 | 共有装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | (データセンターサービス) | – | | | | 本部装備 | | | | 必 須 |
| | B | ファシリティー面での対策 | 25.事業継続のための安全性確保 | | 家具等の転倒防止 | 1,500 | 兼 | | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 本部装備 | | ○ | | 必 須 |
| | | | | | 書類等の落下防止 | 1,500 | 兼 | | 1人あたり(3人で2台の収納庫費用を按分) | 本部装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 屋外防災備蓄倉庫 | 1,500,000 | 9 | 13,500,000 | 拠点で1つ | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | 26.インフラ代替(電気) | | 蓄電池 | 165,000 | 16 | 2,640,000 | 1フロア1台 | 共有装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 発電機 | 60,000 | 16 | 960,000 | 1フロア1台 | 本部装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | (移動電源車) | – | | | 電気自動車も可能 | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | 27.インフラ代替(通信) | | 衛星携帯電話・災害用PHS | 50,000 | 16 | 800,000 | 1フロア1台 | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | (WEB打ち合わせ会議) | – | | | | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | 28.オフィススペース代替 | | 防災テント | 650,000 | 9 | 5,850,000 | 屋外用仮設テント14名用 | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | 折りたたみテーブル・折りたたみイス | 100,000 | 9 | 900,000 | テーブル2台　椅子12脚 | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | ホワイトボード・ボードマーカー・イレーザー | 35,000 | 9 | 315,000 | 1台 | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | 簡易間仕切り | 90,000 | 9 | 810,000 | 自立型3台 | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | | | (バックオフィス・在宅勤務システム) | – | | | | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | 29.移動手段 | | 自転車 | 100,000 | 9 | 900,000 | 拠点各2台 | 本部装備 | | | | 有 効 |
| | | | 30.補修用品 | | ブルーシート・ビニールシート | 15,000 | 9 | 135,000 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | ロープ | 2,500 | 9 | 22,500 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | ガムテープ(布) | 10,000 | 9 | 90,000 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重 要 |
| | | | | | 油性マジック | 5,000 | 9 | 45,000 | 拠点で1セット | 本部装備 | | | | 重 要 |

**有期限防災用品合計¥42,208,500　総合計金額¥156,171,050**

Maintenance

# 3 メンテナンス

「ビズネットセーフティー」では、防災用品装備後のメンテナンスもお手伝いします。
有期限防災用品の処理、入れ替えなどを中心に貴社のお役に立てます。

## 交換商品情報・新商品情報

入れ替え時に、最適な防災用品をカタログやWEBでご紹介していきます。

## 有期限食品処理のお手伝い

**利用体験会**
貴社社員の皆さまを対象に、期限切れ食品の利用体験会等を企画します。

**寄付先ご紹介**
期限切れ食品を無駄に処分したくない場合は、NGO団体等、寄付先をご紹介します。

**売却先ご紹介**
期限を迎える前にあらかじめ交換する場合は、売却先をご紹介します。

※売却には、1年間以上の有効期間が必要となります。

## 有期限防災用品の入れ替えサービス

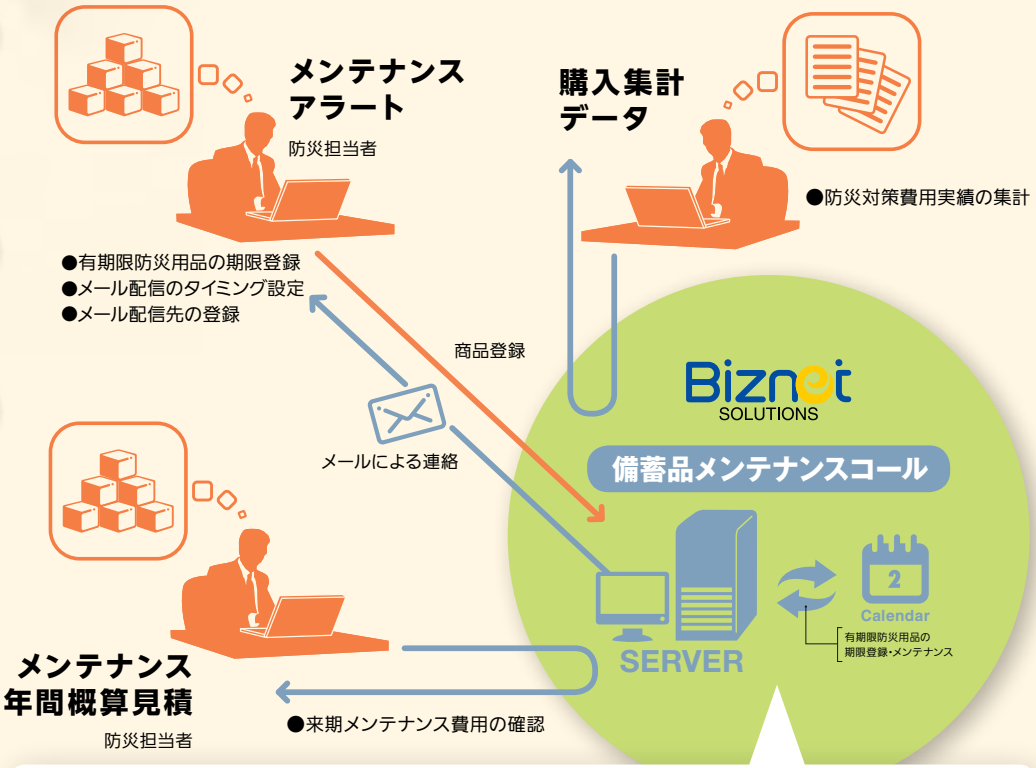
期限切れ防災用品と新しい防災用品との入れ替えを行います。
搬入搬出もお任せください(一部有料業務となります)。

## システムサポート

**メンテナンスアラート**
有期限用品のメンテナンスを行うために、リマインド機能をベースに追加開発。あらかじめ登録した用品の入れ替えのタイミングをメールにて通知。

**購入集計データ**
購入実績を容易に管理でき、内閣府推奨の防災報告書の作成がスムーズに。

**メンテナンス年間見積**
リマインド機能に登録されている防災用品データをダウンロードし、エクセルに展開可能。有期限防災用品のメンテナンス費用(年間)を把握でき、次年度の予算化が容易になる。




「備蓄品メンテナンスコール」サービスは備蓄品情報を入力していただくと、備蓄品の有効期限に対してお望みのタイミングでメールにて管理者様や複数の社員の方にご連絡を差し上げることができるサービスです。また、登録した備蓄品データはダウンロードもできますので、来年度の備蓄品メンテナンス予算の立案などにもご利用いただけます。

- 商品ごとに異なる消費期限や交換時期をメールでお知らせ
- 本社⇔支社間の一括管理も可能
- 面倒な期限管理をWebで対応

System Support

# 備蓄品メンテナンスコールサービス画面

## ご利用イメージ

**備蓄品管理者様**

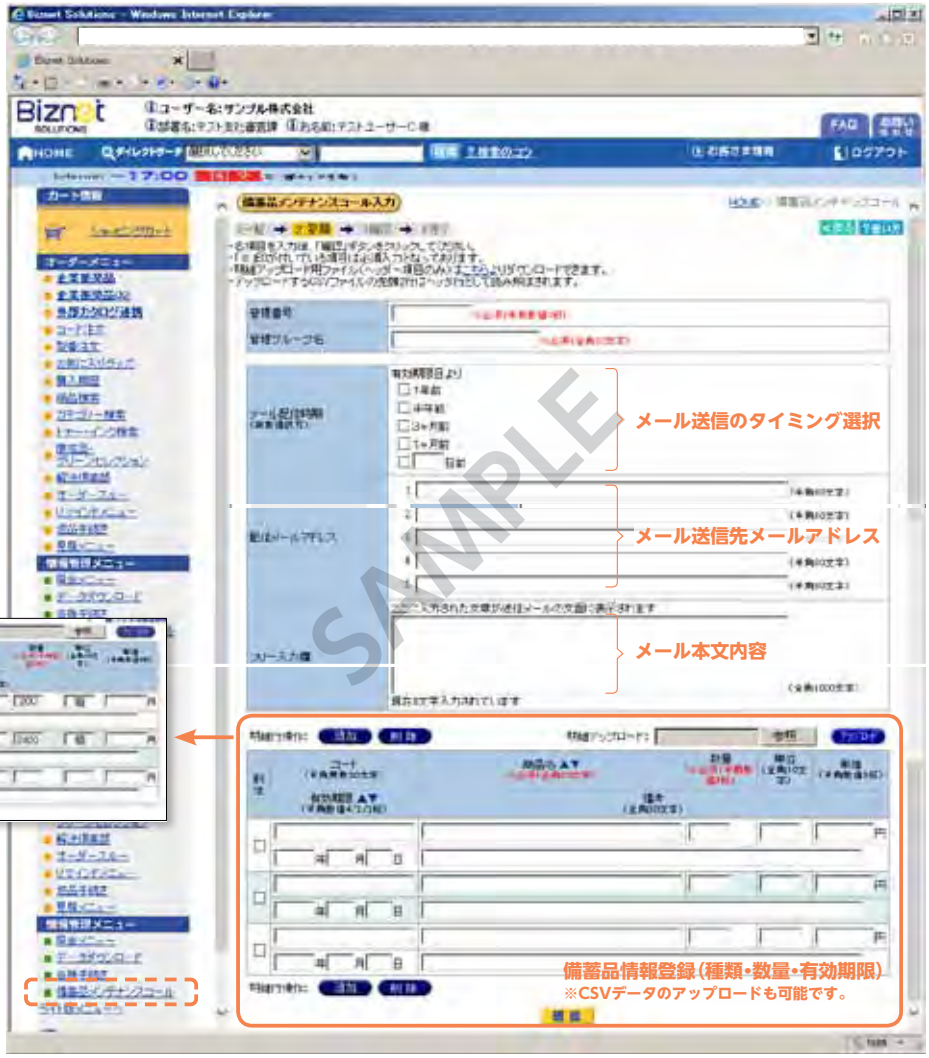
**「備蓄品メンテナンスコール」メニュー**

・備蓄品の種類、数量、有効期限を登録

・メールを受け取りたいメールアドレスを登録

〈入力例〉

備蓄品の追加登録や、日付変更後の更新登録にご利用ください。



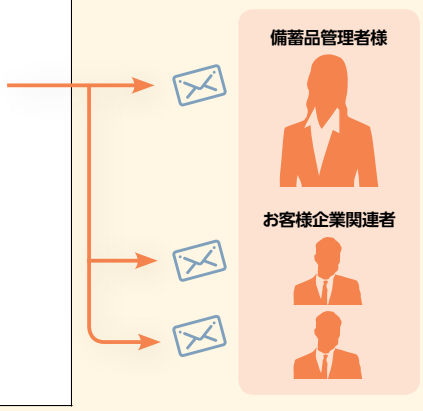

## 指定のタイミングでメールを送信

メールサンプル

件名　●・●【Biznet　備蓄品メンテナンスコール】●・●

```
=====お知らせ=======
サンプルサンプルサンプル
=====お知らせ=======

このメールはご利用いただいております「ビズネット備蓄品メンテナンス
コールシステム」から自動でお送りしています。
このメールに返信しないようお願いいたします。

ご登録いただいている備蓄品に関してお知らせ期日がまいりましたので、
ご連絡をさせていただきます。

以下、貴社管理者様の入力されたメッセージです。

フリー入力欄に入力されたメッセージが表示されます。
関連者への指示や連絡にご利用いただけます。

管理番号：01
管理グループ名：関東グループ

【明細】
=======================================
コード：ABCDEFG
商品名：他社製防災ヘルメット
数量：10
単位：
有効期限：2030/01/01　（有効期限10日前）
単価：123,456,789円
備考：あいうえお
=======================================

※お知らせした明細以外にも登録されている備蓄品がございます。

備蓄品メンテナンスコールの登録状況のご確認はログイン後、「備蓄品メンテナンスコール」
メニューよりご確認いただけます。
備蓄品メンテナンスコール設定されていない場合は、
下記設定部門にお問合せください。
```

SAMPLE




有効期限のある備蓄品の消費期限が近づくと、登録されたメールアドレスに左にあるようなメールが送信されます。
※同じ月に期限が切れる商品はまとめて配信されるように、入力された日付でなく各月の1日を起点に指定されたタイミングでメールは送信されます。

# サービスとご提案

**下記のようなサービスもビズネットセーフティーメニューとして展開しています。ぜひご相談ください。**

## 提案／見積

まずは、貴社の現状やご要望をヒアリングさせていただき、全体の計画を立て、見積書を作成・提出いたします。ご予算に応じて、装備計画を段階的に進めていくことも可能です。

## カスタマイズサービス

パッケージ商品の内容変更、新規用途や事業所ごとに異なる要望にも対応。貴社仕様にカスタマイズしたパッケージ商品をご提案させていただきます。発注量によっては、防災用品に貴社のロゴや社名を入れることも可能です。

### カスタマイズパッケージのご提案例

ご要望に応じて、オリジナルパッケージを企画・提案します。ご相談ください。

**3日間備蓄パッケージ**

社員の方の足元に

**車載防災ツールパッケージ**

全営業車に

**外勤社員用防災ポーチパッケージ**

外勤社員の方のカバンに

**分散（個人）備蓄パッケージ**

デスクの引き出しやロッカーに

## 転倒防止工事

オフィス家具の転倒防止工事を行うと、災害時に避難路を確保でき、人の命を守ることになります。さらに、事業継続という観点でも非常に有効です。オフィス内の調査から見積もり、工事まで一貫して対応させていただきます。

## 防災研修

いざというときに、社員個人個人を的確・迅速に行動させ、いかに多くの人命を守るか。そのための研修・訓練の場を公益社団法人危機管理協会（シーマ）とともに提供します。防災対策用品の配備、転倒防止工事などと併せてご検討ください。

# 事例紹介～備蓄のヒント～

## 分散備蓄

災害時に混乱を防ぐために社員をしばらくオフィスにとどめておけるよう、水や食料を備蓄することが東京都では2013年4月1日より事業者に義務付けられています。もちろん以前から万が一の事態に備えて水や食料を備蓄してきた企業もたくさんありました。
そのような企業の中で「分散備蓄」という考え方が最近生まれてきました。
備蓄品を一箇所でまとめて管理すれば、商品の期限管理やメンテナンスは楽ですが、集中管理は実際に災害に直面すると不都合も出るからです。
さて、どのような課題が浮かび上がったでしょうか。

- 東日本大震災（2011年3月11日）の際に、東京では電気が一時止まってしまい、地下の倉庫から備蓄品を移動させることができなかった。
- 備蓄品を管理している部門では、災害発生後、情報収集や被災地の社員の安否確認に時間がかかり、各部門へ備蓄品を配布する人手を割くことができなかった。

結果、災害発生の半日後には必要になるかもしれない備蓄品をそれまでに配布できない可能性が非常に高いという課題が見えてきました。
そのために、すべてを一箇所で管理するのではなく、1日分程度を事前に社員に配布し、手元で管理させる「分散備蓄」の必要性が唱えられ始めました。これにより、対策本部として時間的余裕を得ることができ、同時に集中備蓄もコンパクトにすることができます。
また、2013年4月1日の東京都条例（帰宅困難者対策条例）を機に、3日分の水や食料を備蓄しようと考えた企業の中には、備蓄するスペースを確保できないため、3日分をすべて「分散備蓄」にするという企業もあります。メンテナンス時の工夫は必要ですが、新たにまとまった備蓄スペースを確保する必要がないため、早急に対策を取ることが可能になるというメリットがあります。
このように、買い揃えれば対策が終わりというわけではなく、使える備蓄という形態にしておくことが重要になります。

1日分程度の水や食料をA4のボックスに入れて個人で管理を行う。ロッカーや引き出しに入れて手元で管理する「分散備蓄」スタイル。

## ランニングストック（回転備蓄）

水や食料などの防災用品は、長期保存ができ、1度導入してしまえば3～5年はメンテナンス不要のため多くの企業で導入されています。ところが、価格が高いことや入手先が限定されてしまうという面もあります。
「ランニングストック」は、通常品を備蓄品にし、使用しながら常に新しいものを補充するという方法で、家庭などで採用されています。
ある企業では、備蓄品の価格を抑えるために、普段どこでも手に入るものを採用し、水は来客や会議に、食事は社員の残業食、会議やイベントの昼食などに利用することで常に新しい水や食事が一定量備蓄されているという状況になるよう工夫されています。これは災害時にも普段食べているものを食べたいというメンタル面も考慮した運用となっています。

3日分の水と食料を各自の足元に備蓄。

ビズネットオリジナル「足元備蓄ボックス」

3日分の水と食料、毛布、エアマットがコンパクトに収納できる。

## 0次防災対策

オフィスでの備蓄は万全という企業でも、意外と未着手なのが、外勤中心の営業マンやドライバーへの対応です。彼らは、日中出先で被災する可能性が高く、オフィスの装備や備蓄が役に立ちません。そのため、外勤が多い職種の方のために、救急セットやライト、ラジオなどをコンパクトにまとめたポーチを準備している企業もあります。
このような対策は、フェーズ1対応を1次防災、フェーズ2対応を2次防災と呼ぶのに対して、災害が起きる前からの防災対策という意味で「0次防災」と呼ばれています。
まだ多くはありませんが、外勤の方はもちろん内勤中心の方でも通勤途中や出張先などで被災する可能性もあることから、新たな防災対策として企業でも取り組みが始まっています。

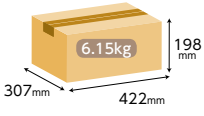
ビズネットオリジナル「防災ポーチ」

Biznet Safety

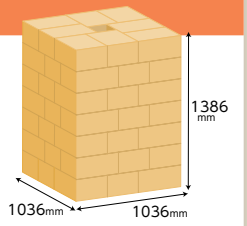
# 備蓄スペースの目安

防災備蓄にはどのくらいのスペースが必要なのでしょうか？
代表的な商品の備蓄スペースをここにあげてみました。計画の参考にしてください。
積載の高さは、作業性を考え1500㎜以下を基本に計算しています。(重量のあるものは、1300㎜を基本)

## 1 防災備蓄用乾燥米
アルファ米・マジックライスなど



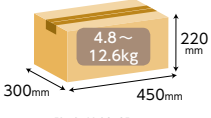

[梱包箱外寸]



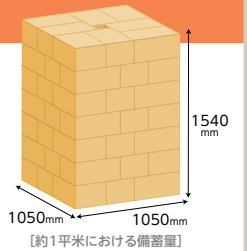

[約1平米における備蓄量]

1箱50食 | 50食×8箱×7段＝2800食

## 2 備蓄用レトルト食材
UAAおいしい食品防災食



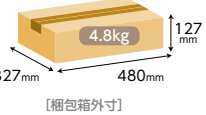

[梱包箱外寸]



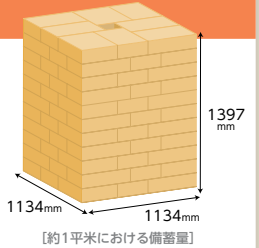

[約1平米における備蓄量]

1箱50食 | 50食×8箱×7段＝2800食

## 3 備蓄用缶入りパン
生命のパン




[梱包箱外寸]

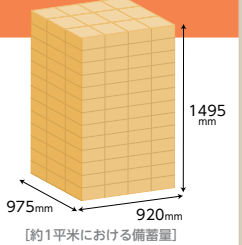



[約1平米における備蓄量]

1箱24食 | 24食×8箱×11段＝2112食

## 4 携帯保存食
カロリーメイト

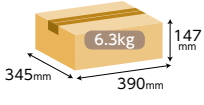
[梱包箱外寸]



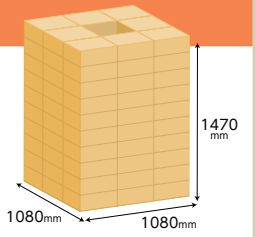

[約1平米における備蓄量]

1箱60食 | 60食×12箱×13段＝9360食

## 5 備蓄用レトルト具材＋ご飯セット



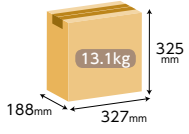

[梱包箱外寸]



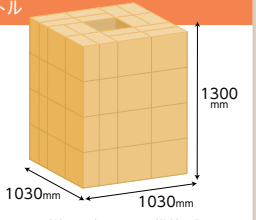

[約1平米における備蓄量]

1箱12食 | 12食×8箱×10段＝960食

## 6 非常用５年保存水
フジミネラルウォーター2Lペットボトル



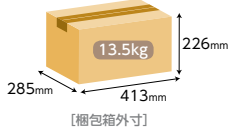

[梱包箱外寸]



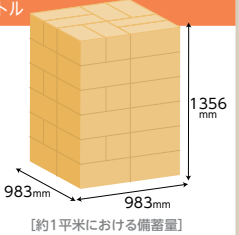

[約1平米における備蓄量]

1箱6本 | 6本×16箱×4段=384本(768L)

## 7 非常用５年保存水
フジミネラルウォーター500mlペットボトル



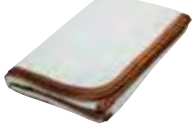

[梱包箱外寸]



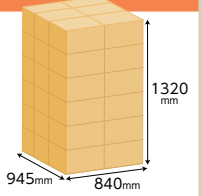

[約1平米における備蓄量]

1箱24本 | 24本×8箱×6段=1152本(576L)

## 8 防災備畜用毛布(省スペースタイプ)
不織布製



[梱包箱外寸]




[約1平米における備蓄量]

1箱10枚 | 10枚×6箱×6段＝360枚

- この表はあくまで参考資料です。メーカーによるパッケージ変更等により設置スペースが変化する可能性があります。
- 備蓄スペースの形態や環境によっては、ここに表示されている量が設置できないケースが考えられます。
- 備蓄スペースの環境によって下部にスノコやパレットを敷く場合などには、備蓄量が変化する場合があります。

Biznet Safety

ビズネットセーフティー　2014年10月制作
制作:ビズネット株式会社
監修:公益社団法人危機管理協会